



土木施工管理システム【エクストレンド武蔵】

はじめてみよう！ 出来形管理

本書は、EX-TREND武蔵 出来形管理に関する基本的な操作方を以下の3つの章(出来形管理、写真・出来形管理、TS出来形)に分けて簡単なサンプルを用いて解説しています。興味のある章からでもご利用いただけるようにできています。

本書について

(※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。)

ご注意

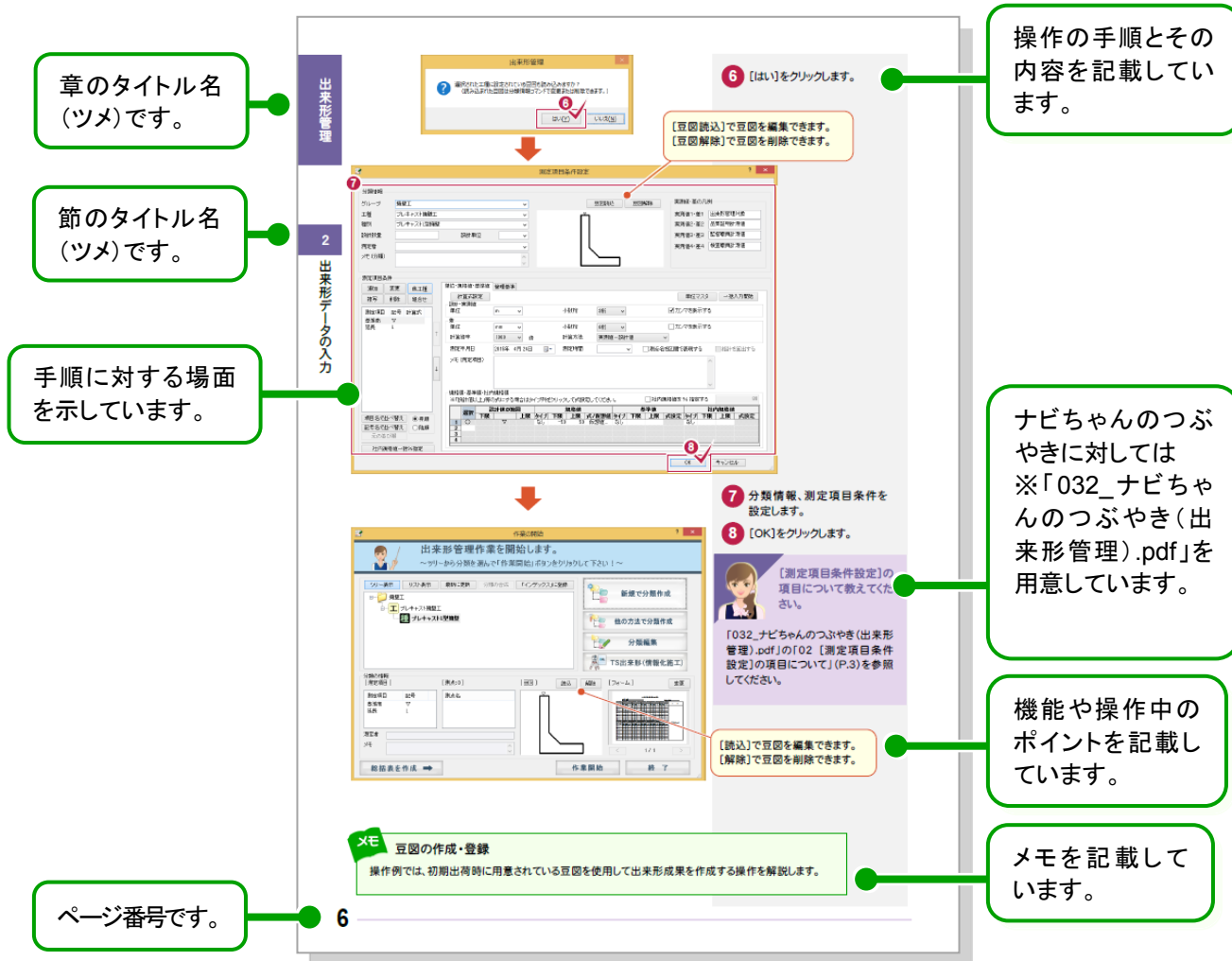
- (1) 本ソフトウェアおよび本文の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本ソフトウェアおよび本文の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- (3) 本ソフトウェアを複数の機械で同時に使用する場合は、機械と同数の本ソフトウェアが必要です。
- (4) 本ソフトウェアの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)の項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- (6) 弊社以外のソフトウェアに関するお問い合わせはご遠慮願います。

- (7) データのバックアップについて
お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVDなど)に保存してください。
また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

- Microsoft、Windows、Windows Vista、SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft (R) Windows (R) Operating System です。
- Windows Vista の正式名称は、Microsoft (R) Windows Vista (R) Operating System です。
- UNLHA32.DLL は、Micco 氏のフリーソフトウェアです。
- 7-Zip
Copyright (C) 1999-2011 Igor Pavlov.
- LEADTOOLS
Copyright (C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- LaLaVoice (TM) は、株式会社東芝の商標です。
- 東芝製音声合成及び音声認識ソフトウェアの著作権は、全て株式会社東芝に帰属します。
- Antenna House PDF Driver
Copyright (C) 2004- Antenna House, Inc.
- ImageKit7
Copyright (C) 2005 Newtone Corp.
- InstallShield2013
Copyright (C) 2013 Flexera Software LLC. Flexera Software および InstallShield は、Flexera Software LLC の商標です。その他すべてのブランドおよび製品名は、各社の登録商標または商標です。
- LandXML Software Developers Kit Version 1.1
Copyright (C) 1999-2006 LandXML.org. All rights reserved.
- Apache License2.0
Xerces is Copyright (C) 1999-2006 The Apache Software Foundation.
- 解説画面を含め、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- BLUETREND、EX-TREND、EX-TREND武蔵およびEX-TREND MUSASHIは、福井コンピュータ株式会社の登録商標です。

本書の使い方

本書は、下図のようなイメージで構成され、
実際の手順を番号付きで説明しています。
初心者の方でも、簡単に操作方法をマスター
することができます。



※「032_ナビちゃんをつぶやき(出来形管理).pdf」は、「FcApp¥各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」に格納されています。

表記について

本書は、下記のような用語やマークを使用して、
操作を解説しています。

用 語	マーク	説 明
クリック		マウスの左ボタンを1回押す動作のことです。
ダブルクリック		マウスの左ボタンをすばやく2回押す動作のことです。
ドラッグ&ドロップ		マウスのボタンを押しながらマウスを移動し、移動後にそのボタンを離す動作のことです。
マウスポインタ		マウス本体の動きに合わせて移動するディスプレイ上の白矢印のことです。場面によって変化します。
「 」		メッセージや入力する値などを表します。
[]		メニュー・コマンド・ボタン・画面などの名前を表します。

目次

はじめてみよう！ 出来形管理

出来形管理

1. 新規工事作成	2
1-1 新規に工事を作成する	2
2. 出来形データの入力	4
2-1 [出来形管理]を起動する	4
2-2 分類を作成する	5
2-3 基本条件を設定する	7
2-4 測点を作成する	9
2-5 設計値・実測値を入力する	12
2-6 成果の出力条件を設定する	14
3. 帳票の編集	18
3-1 [成果編集]へ切り替える	18
3-2 画面の表示範囲を拡大・縮小する	19
3-3 文字列を訂正する	20
3-4 文字列を削除する	21
3-5 セルの色を訂正する	22
3-6 写真を追加する	23
3-7 文字列を追加する	24
3-8 フォーム内のすべてのページを編集する	25
3-9 グラフを訂正する	26
4. 帳票の印刷	27
4-1 帳票を印刷する	27
4-2 データを保存する	28
4-3 [出来形管理]を終了する	28

写真・出来形管理

1. 新規工事作成	30
1-1 新規に工事を作成する	30
2. 写真の取り込み	32
2-1 [写真管理]を起動する	32
2-2 写真を取り込む	34
3. 出来形データの入力	36
3-1 出来形データを入力する	36
3-2 上書き保存して、終了する	41
4. 帳票の作成	42
4-1 [出来形管理]を起動する	42
4-2 フォームを選択する	43

TS出来形

1. TS出来形データの読み込み	48
1-1 [出来形管理]を起動する	48
1-2 TS出来形データXMLファイルを読み込む	49
1-3 各断面のデータを確認する	51
1-4 帳票のフォーム(様式)を確認する	53
2. 帳票の確認	54
2-1 帳票を確認する	54
2-2 成果の出力条件を設定する	55
3. 帳票の印刷	58
3-1 帳票を印刷プレビューで確認する	58
3-2 帳票を印刷する	59
4. TS出来形データの書き込み	60
4-1 TS出来形データXMLファイルに出力する	60

出来形管理

新規工事を作成して[出来形管理]
を起動してみましょう。
その後、出来形データを入力して、
帳票を作成してみましょう。



1 新規工事作成

2 出来形データの入力

3 帳票の編集

4 帳票の印刷

1 新規工事作成

新規工事を作成してみましょう。

1-1 新規に工事を作成する

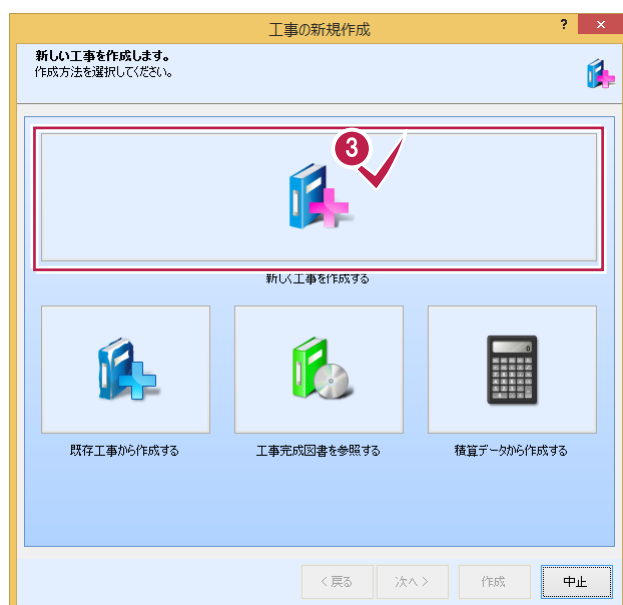
[EX-TREND武蔵 インデックス]の[新規工事]の[新しく工事を作成する]で新規に工事を作成します。



- 1 [EX-TREND武蔵 インデックス]をダブルクリックします。



- 2 [新規工事]をクリックします。
- 3 [新しく工事を作成する]をクリックします。



工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。
工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

4 工事名称

発注年度(西暦)

工事番号

工事箇所

河川路線名等

工期開始・終了日 ~

諸員金額 円

工事内容

5 ☐ 電子納品を行う

要領・基準案の選択...

成果設定

CORINS読み込み...

アイコン

工事カラー

6 作成

< 戻る 次へ > 中止

4 工事名称を入力します。

5 操作例では電子納品を行わないので、
[電子納品を行う]のチェックをオフに
します。

6 [作成]をクリックします。

EX-TREND武蔵 インデックス

ファイル(E) 工事(K) 分組作業(S) 表示(I) ツール(T) ヘルプ(H)

名称	工事数	工事名称	施工状況	工期開始日	工期終了日	最終更
グループ	1	サンプル出来形管理工事	着工前	2015/02/25	2015/04/24	2015
すべて表示	1					
持ち出した工事	0					
ごみ箱	0					

工事情報 電子納品 工事内容(工)

工事名変更 CORINS取込 基準案設定 積算データ取込 工事テンプレ

受注者名変更 既存工事参照 積算データ確認 既存データ参照

今日イベント: 0件 グループ: グループ C:\FcApp\EX-TREND武蔵\工事データ\サンプル出来形管理工

メモ

自社情報について

起動時下記のようなメッセージが表示された場合は、必要に応じて自社情報を入力してください。

EX-TREND武蔵

❗ 自社情報データがありません。
ここで入力してください。
「OK」ボタンを押すと編集画面に進みます。
後で入力してもかまいません。
→ メニュー「ファイル」-「自社情報」

OK



自社情報

名称

フリガナ

郵便番号

住所

組織区分 電話番号

業種区分 *

URL

地域 FAX番号

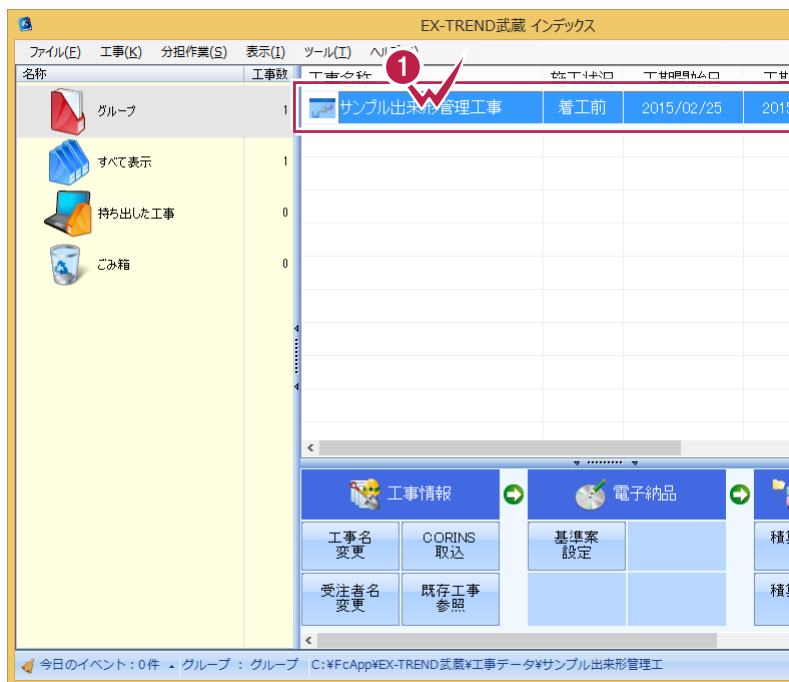
建設許可番号 *

2 出来形データの入力

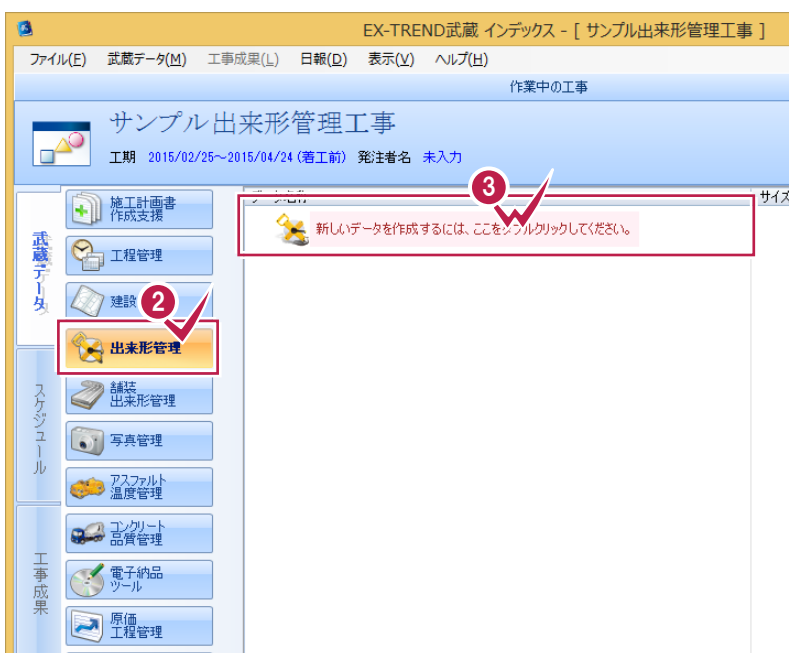
[出来形管理]を起動して、出来形データを入力してみましょう。

2-1 [出来形管理]を起動する

操作例では、EX-TREND武蔵 インデックスの[武蔵データ]から[出来形管理]を起動します。



1 作成した工事をダブルクリックします。



2 [出来形管理]をクリックします。

3 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

2-2 分類を作成する

分類を作成します。操作例では、他工種を読み込み、新規で分類を作成します。

- 1 [新規で分類作成]をクリックします。



インデックスで分類を設定した場合は？

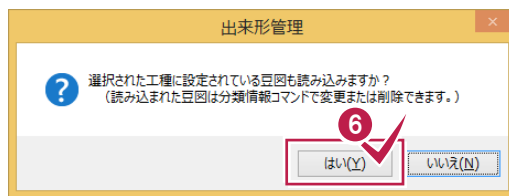
〔他の方法で分類作成〕-〔インデックス〕で分類を作成します。
詳細は、「032_ナビちゃんをつぶやき(出来形管理).pdf」の「01 インデックスで設定した分類を取り込む」(P.2)を参照してください。

- 2 [他工種]をクリックします。

- 3 テンプレート名、グループ名、登録名を選択します。
ここでは、以下のように選択します。
[テンプレート名]:テンプレート
[グループ名]:道路
[登録名]:道路改良

- 4 分類を選択します。
ここでは、「出来形管理写真」-「擁壁工」-「プレキャスト擁壁工」-「プレキャストL型擁壁」を選択します。

- 5 [読込]をクリックします。



6 [はい]をクリックします。

[豆図読込]で豆図を編集できます。
[豆図解除]で豆図を削除できます。

7 分類情報、測定項目条件を設定します。

8 [OK]をクリックします。

[測定項目条件設定]の項目について教えてください。

「032_ナビちゃんのつぶやき(出来形管理).pdf」の「02 [測定項目条件設定]の項目について」(P.3)を参照してください。

[読込]で豆図を編集できます。
[解除]で豆図を削除できます。

メモ

豆図の作成・登録

操作例では、初期出荷時に用意されている豆図を使用して出来形成果を作成する操作を解説します。

2-3 基本条件を設定する

帳票などを設定します。

- 1 [フォーム]の[変更]をクリックします。

このボタンをクリックして表示される「総括表を作成」ダイアログから総括表(Excel形式)を出力することができます。

- 2 グループを選択します。
- 3 使用するフォームをクリックします。
- 4 [使用する]をクリックします。

メモ

出来形フォーマットの作成・登録

操作例では、初期出荷時に用意されている出来形フォーマットを使用して出来形成果を作成する操作を解説します。

- 5 [OK]をクリックします。

「バリエーション」が登録されているフォームを選択すると、測定項目数・測点数・段数を指定するダイアログが表示されます。「バリエーション」が登録されているフォームは、複数用の画像が表示されます。「バリエーション」とは、同一フォームで「測定項目数」「測点数」「段数」が異なるフォームです。使用するフォームには測定項目数・測点数・段数が表示されます。

作業の開始

出来形管理作業を開始します。
～ツリーから分類を選んで「作業開始」ボタンをクリックして下さい！～

ツリー表示 リスト表示 最新に更新 分類の合成 「インデックス」に登録

新規で分類作成
他の方法で分類作成
分類編集
TS出来形(情報化施工)

分類の情報
[測定項目] [測点:0] [豆図] 読み込み 解除 [フォーム] 変更

測定項目 記号 測点名
基準高 ▾
延長 L

測定者
メモ

総括表を作成 ➡

作業開始 終了

6 [作業開始]をクリックします。



出来形管理 - プレキャスト擁壁工-プレキャストL型擁壁

ファイル(E) 編集(E) データ入力(X) 成果編集(L) 表示(V) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

データ入力 成果編集 マスターとして保存 印刷プレビュー 印刷 元に戻す ヘルプ
やり直し 上書き保存

分類開く
条件設定
項目追加
測点自動
測点追加
写真管理
入力切替
フォーム
出力設定

測定結果一覧表 / 10項目-10点-1階
出来形管理図表 / 1項目-30点-1段

使用するフォームが表示されます。

測定項目 測定記号
基準高 ▾
延長 L

No.	測点名	設計値	実測値1	差1	規格値下限	規格値上限	測定日	差1
1								

社内規格値外:[緑] 基準値外:[青] 規格値外:[赤]

豆図データ

選択されているフォームのイメージが表示されます。

豆図

[豆図]ウィンドウが表示されます。

ヘルプ 縦横断入力切替 工程分類を開く データ力へ移動 成果編集へ移動 豆図参照 測点自動作成 測定項目追加 印刷 上書き保存 NUM

X:300.13 Y:-21.00 A4横

測定項目、測定記号が表示されます。

選択されている測定項目の測点名、設計値、実測値を入力します。

[豆図]ウィンドウが表示されます。

2-4 測点を作成する

測定項目の測点を作成します。

操作例では以下の2通りの方法で「No.2」～「No.15」「No.15+19.25」を作成します。

- ①測点を手入力する
- ②[測点自動]+[測点追加]で入力する

①測点を手入力する

測定項目	測定記号	No.	測点名	設計値	実測値1
基準高	▽	1	No.2		
延長	L	2			



測定項目	測定記号	No.	測点名	設計値	実測値1
基準高	▽	1	No.2		
延長	L	2	No.3		
		3			



測定項目	測定記号	No.	測点名	設計値	実測値1
基準高	▽	1	No.2		
		2	No.3		
延長	L	3	No.4		
		4			



測定項目	測定記号	No.	測点名	設計値	実測値1
基準高	▽	1	No.2		
		2	No.3		
		3	No.4		
延長	L	4	No.5		
		5			



測定項目	測定記号	No.	測点名	設計値	実測値1
基準高	▽	1	No.2		
		2	No.3		
		3	No.4		
		4	No.5		
		5	No.6		
		6	No.7		
		7	No.8		
		8	No.9		
		9	No.10		
		10	No.11		
		11	No.12		
		12	No.13		
		13	No.14		
		14	No.15		
延長	L	15	No.15+19.25		
		16			

1 1行目の[測点名]に「No.2」と入力して、Enterキーを押します。

2 2行目の[測点名]に「No.3」と入力して、Enterキーを押します。

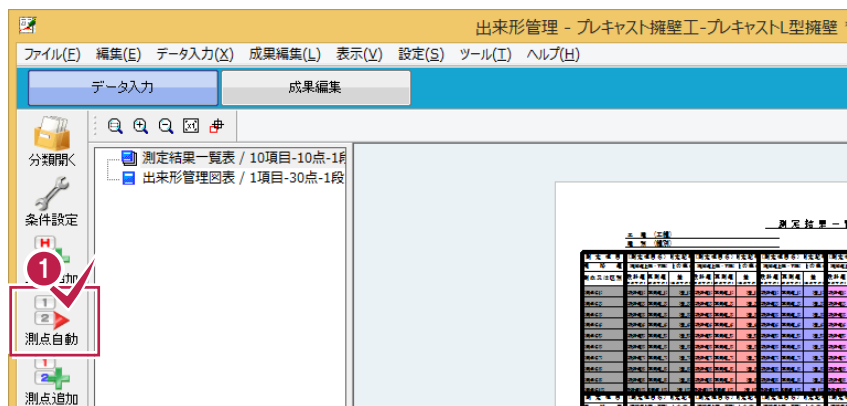
3 3行目の[測点名]に「No.4」と入力して、Enterキーを押します。

4 4行目の[測点名]に「No.5」と入力して、Enterキーを押します。

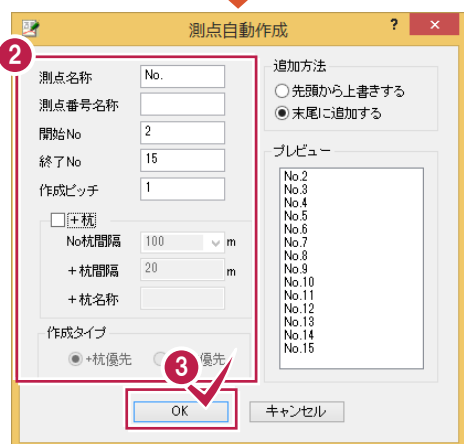
5 同様に「No.6」～「No.15」「No.15+19.25」と入力します。

あらかじめ用意してある「出来形データ.csv」を開き、測点名をコピーすることもできます。
「出来形データ.csv」は、インストール時にフォルダーを変更していなければ、「FcApp¥EX-TREND武蔵¥サンプル¥出来形管理」フォルダーにコピーされます。

② [測点自動]+[測点追加]で入力する

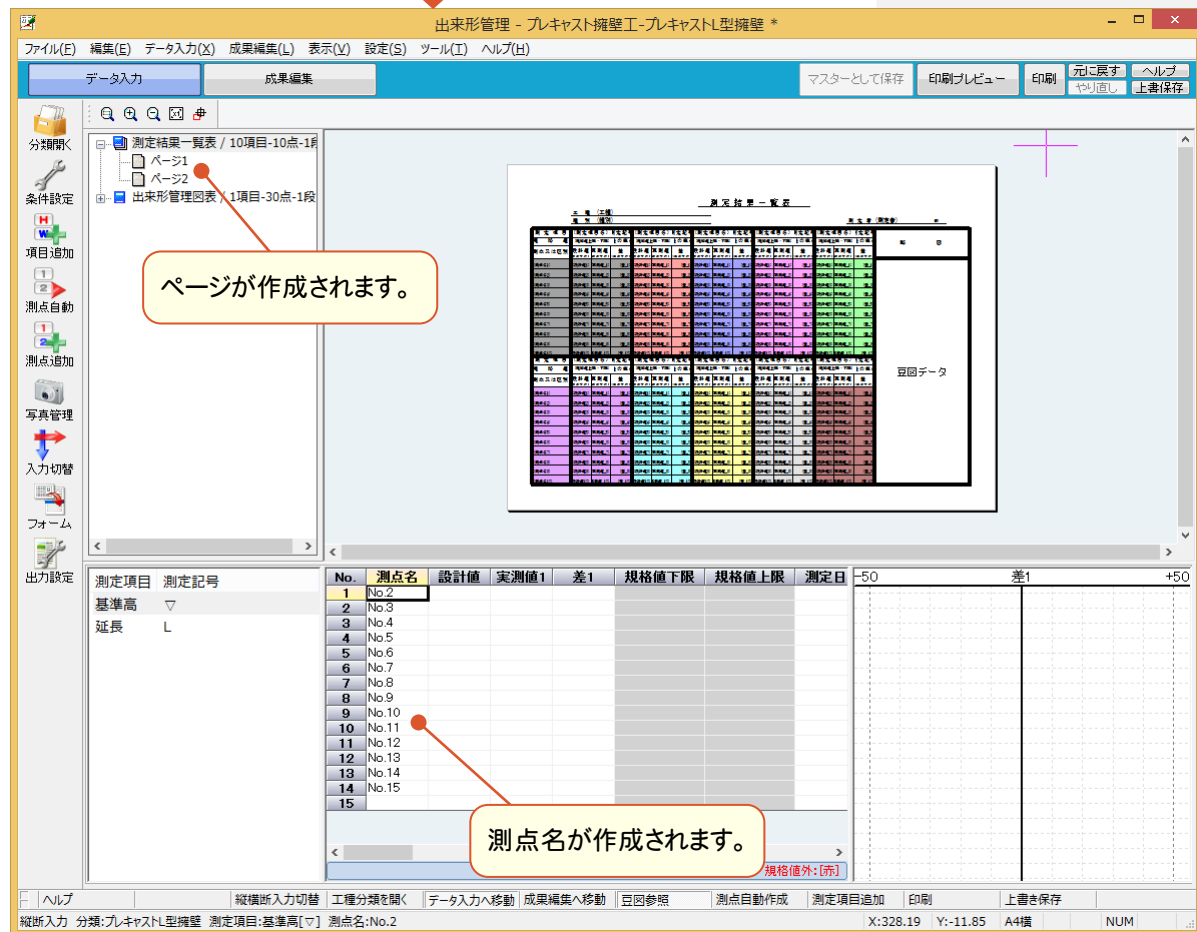


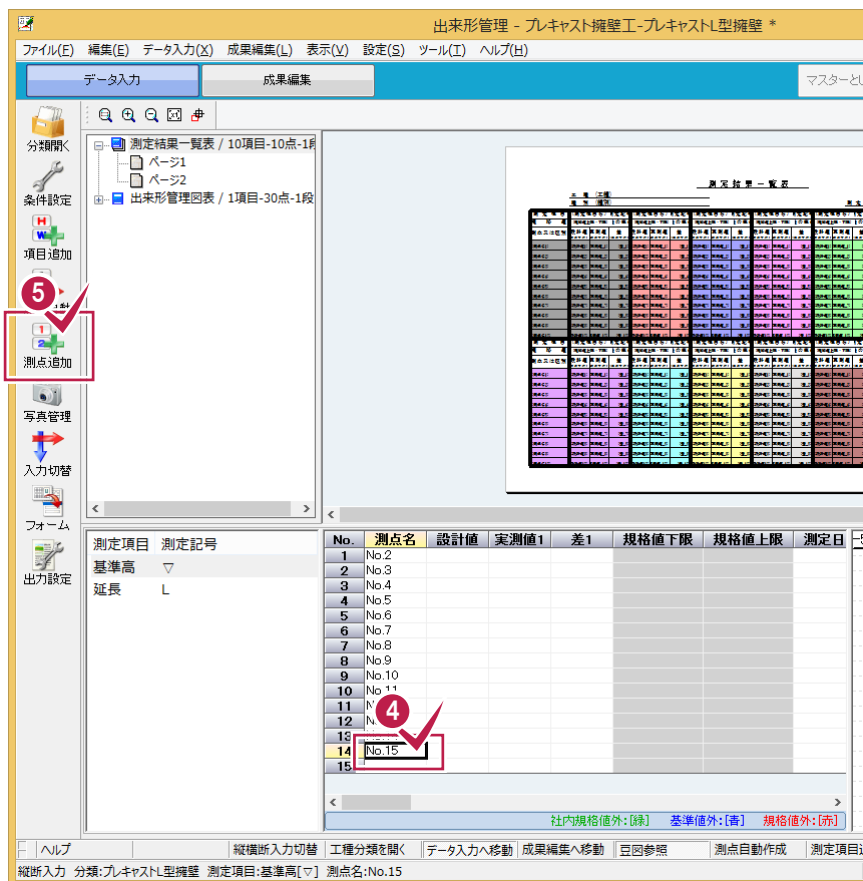
1 [測点自動]をクリックします。



2 開始No、終了Noを入力します。

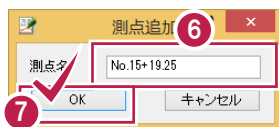
3 [OK]をクリックします。





4 測点を追加するセル「No.15」をクリックします。

5 [測点追加]をクリックします。



6 [測点名]に「No.15+19.25」と入力します。

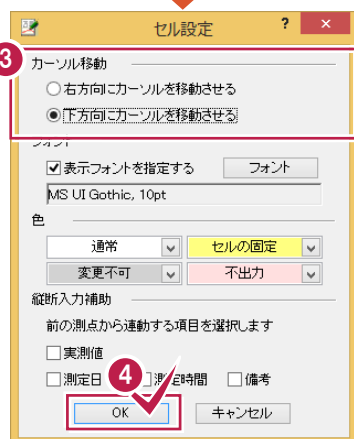
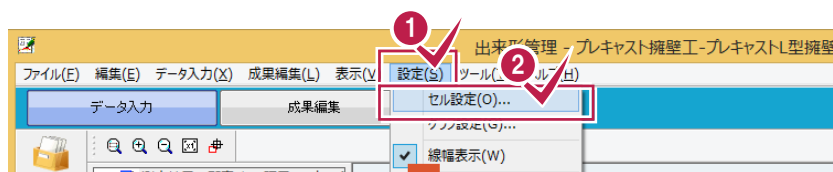
7 [OK]をクリックします。



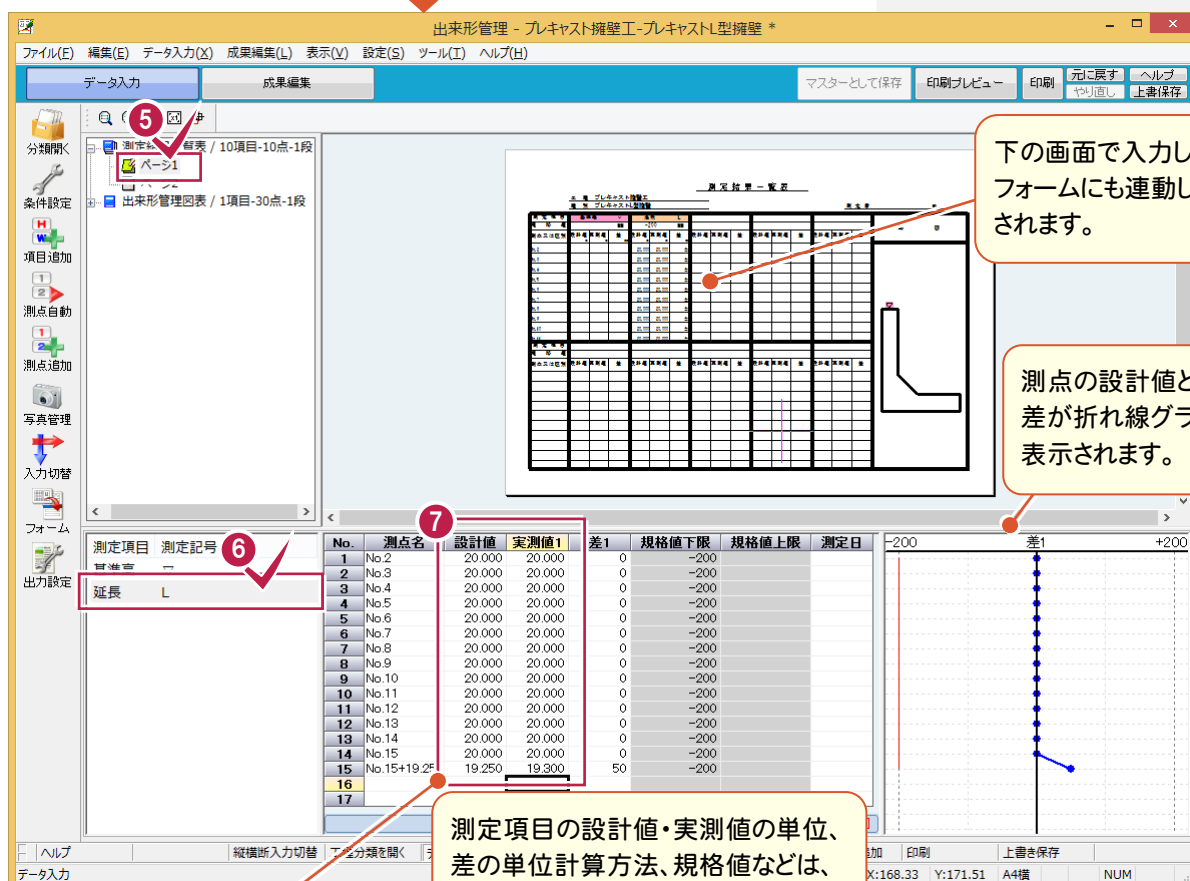
選択した次の行に「No.15+19.25」の測点が追加されます。

2-5 設計値・実測値を入力する

測定項目の設計値・実測値を入力します。



- 1 [設定]をクリックします。
- 2 [セル設定]をクリックします。
- 3 [カーソル移動]で、Enterキーを押したときのカーソルの移動方向を選択します。
- 4 [OK]をクリックします。



あらかじめ用意してある「出来形データ.csv」を開き、設計値、実測値をコピーすることもできます。

「出来形データ.csv」は、インストール時にフォルダーを変更していなければ、「FcApp¥EX-TREND武蔵¥サンプル¥出来形管理」フォルダーにコピーされます。

- 5 [測定結果一覧表]の「ページ1」をクリックします。
- 6 [延長 L]をクリックします。
- 7 各測点の設計値、実測値を入力します。

あらかじめ用意してある「出来形データ.csv」を開き、設計値、実測値をコピーすることもできます。
「出来形データ.csv」は、インストール時にフォルダーを変更していなければ、「FcApp¥EX-TREND武蔵¥サンプル¥出来形管理」フォルダーにコピーされます。

8 「基準高」をクリックします。

9 各測点の設計値、実測値を入力します。

メモ

設計値を一括入力する

設計値が同じ場合は、一括入力することもできます。

No.	測点名	設計値	実測値1
1	No.2	20,000	
2	No.3	20,000	
3	No.4	20,000	
4	No.5	20,000	
5	No.6	20,000	
6	No.7	20,000	
7	No.8	20,000	
8	No.9	20,000	
9	No.10	20,000	
10	No.11	20,000	
11	No.12	20,000	
12	No.13	20,000	
13	No.14	20,000	
14	No.15	20,000	
15	No.15+19.25	20,000	
16			

1 「設計値」の項目名をクリックします。

2 1行目に設計値を入力して、Enterキーを押します。

設計値が一括入力されます。



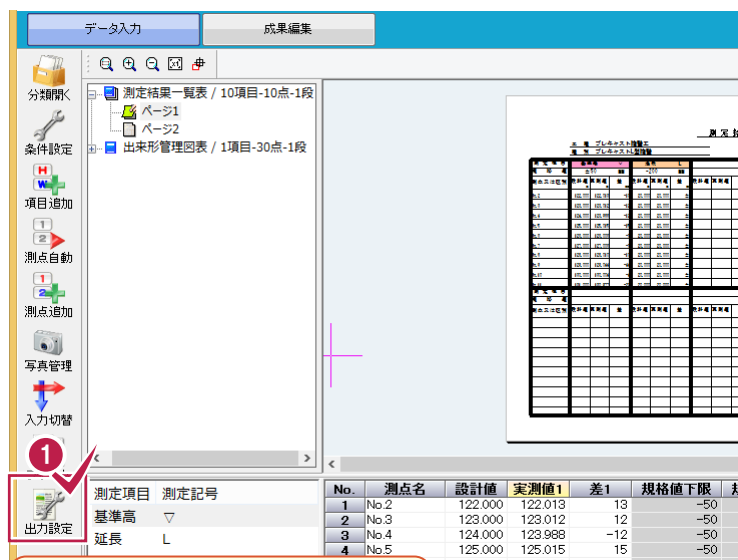
測点ごとに、測定項目の設計値・実測値を入力したいのですが。

「入力切替」で、入力方法を切り替えることができます。

詳細は、「032_ナビちゃんのつづき(出来形管理).pdf」の「03 入力方法を切り替える」(P.5)を参照してください。

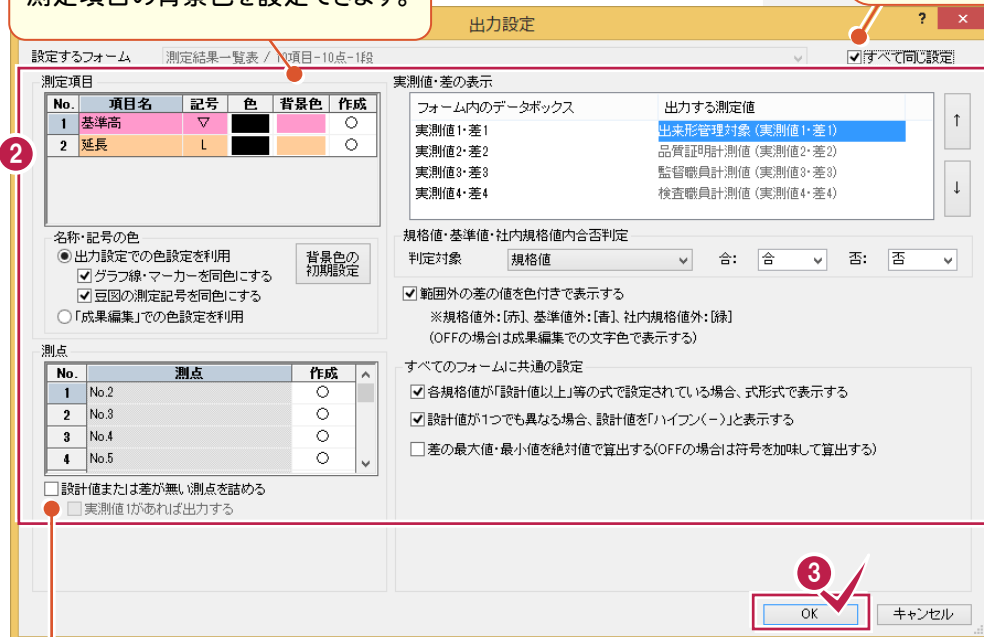
2-6 成果の出力条件を設定する

成果の出力条件（出力対象とする測定項目、測点、表示色など）を設定します。



[測定項目]の[背景色]で成果の測定項目の背景色を設定できます。

出力設定



1 [出力設定]をクリックします。

2 成果の出力条件（出力対象とする測定項目、測点、表示色など）を設定します。

3 [OK]をクリックします。

成果ごとに出力条件を設定するときは、[すべて同じ設定]のチェックをオフにして設定するフォームを選択します。

[設計値または差が無い測点を詰める]のチェックをオンにすると、次の測点は成果に出力されません。

・「設計値」が入力されていない測点 ・「実測値1～4」が一つも入力されていない測点

1ページに複数の測定項目がある場合は、注意が必要です。下図の例で示すと、「延長」については「測点 No.5」が詰められ、「基準高」については「測点 No.3, No.5, No.7」が詰められます。ただし、「測点名」は「表1」の内容（ここでは「延長」の表）になっているため「延長」と同じく「測点 No.5」のみが詰められます。

結果として、「測点名」と「基準高」の各値とは行がずれることになります。

測定項目	延長 L			基準高 ▽		
規格値	-200 mm			±50 mm		
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
No. 2	20.000	20.000	0	122.000	122.030	+30
No. 3	20.000	20.000	0	123.000		
No. 4	20.000	20.000	0	124.000	124.000	0
No. 5	20.000			125.000		
No. 6	20.000	20.000	0	126.000	125.950	-50
No. 7	20.000	20.000	0	127.000		

設計値または差の無い測点を詰める、

測定項目	延長 L			基準高 ▽		
規格値	-200 mm			±50 mm		
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
No. 2	20.000	20.000	0	122.000	122.030	+30
No. 3	20.000	20.000	0	124.000	124.000	0
No. 4	20.000	20.000	0	126.000	125.950	-50
No. 6	20.000	20.000	0			
No. 7	20.000	20.000	0			

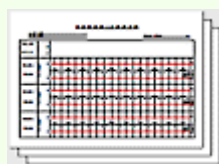
設計値または差の無い測点を詰める

1 ページに出力する測定項目数・測点数・段数を変更する

「バリエーション」が登録されているフォームを使用している場合は、[成果編集]－[測定項目数・測点数設定]で1ページに出力する測定項目数・測点数・段数を変更できます。

バリエーションとは、同一フォームで、「測定項目数」「測点数」「段数」が異なるフォームです。出荷標準で登録されているフォームもありますが、[施工管理フォーマット]で作成することもできます。登録されているバリエーション内で、「測定項目数」「測点数」「段数」の変更が可能になります。

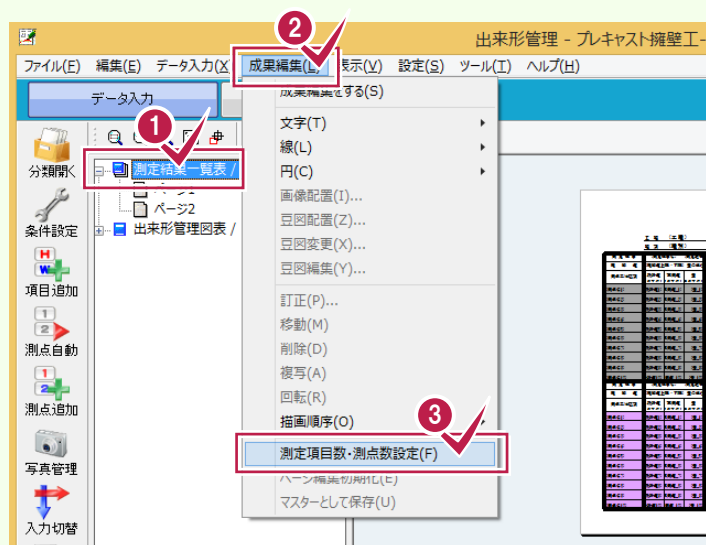
バリエーションが登録されているフォームと登録されていないフォームは、[該当したフォーム]ボックスの画像で判別可能です。(バリエーション有りは複数の用紙が重なったイメージ)



【バリエーションあり】



【バリエーションなし】



- 1 フォームを選択します。
- 2 [成果編集]をクリックします。
- 3 [測定項目数・測点数設定]をクリックします。

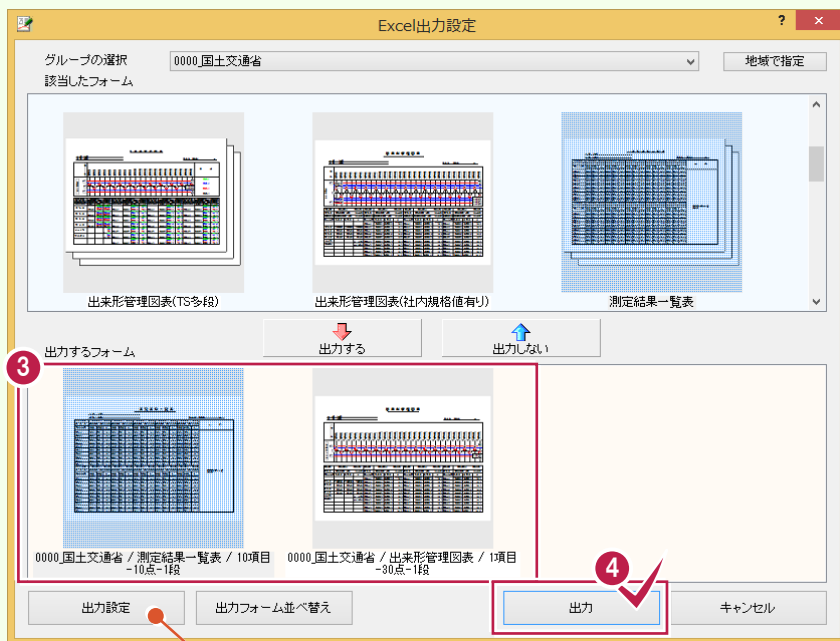
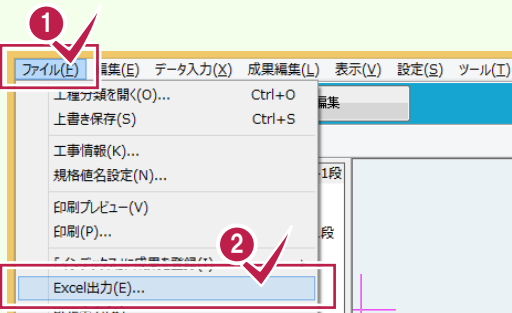


- 4 操作例では測定項目数を設定します。
- 5 [OK]をクリックします。

メモ

Excelファイル形式で出力する

出来形データをExcel形式(*.xls)で出力します。



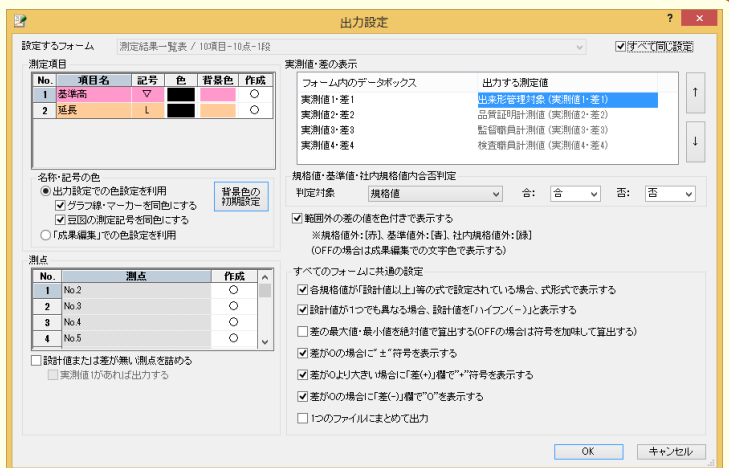
1 [ファイル]をクリックします。

2 [Excel出力]をクリックします。

3 [出力するフォーム]に出力するフォームが選択されていることを確認します。

4 [出力]をクリックします。

出力するフォームの出力条件を設定します。



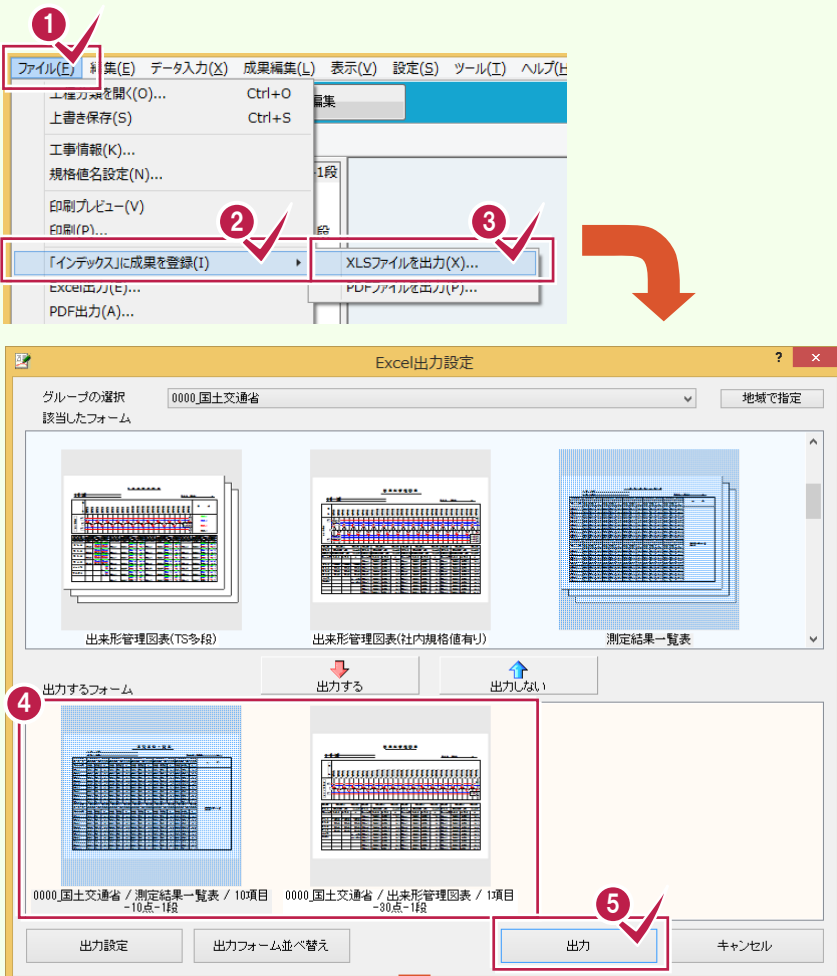
- [出力設定]ダイアログの[1つのファイルにまとめて出力]のチェックがオンのときは1ファイルに出力されます。オフのときはフォームごとに1ファイルずつ出力されます。
- 1ページが1シートになります。
- 丸め方法は四捨五入になります。
- 設計値・実測値は条件設定の小数桁、それ以外は差の小数桁になります。

メモ

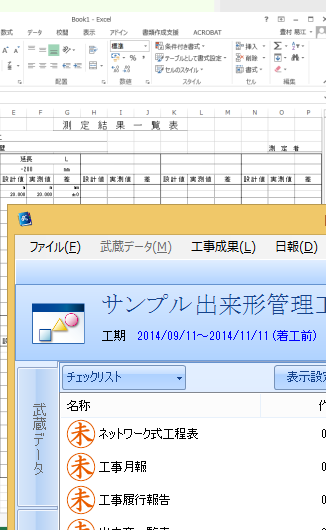
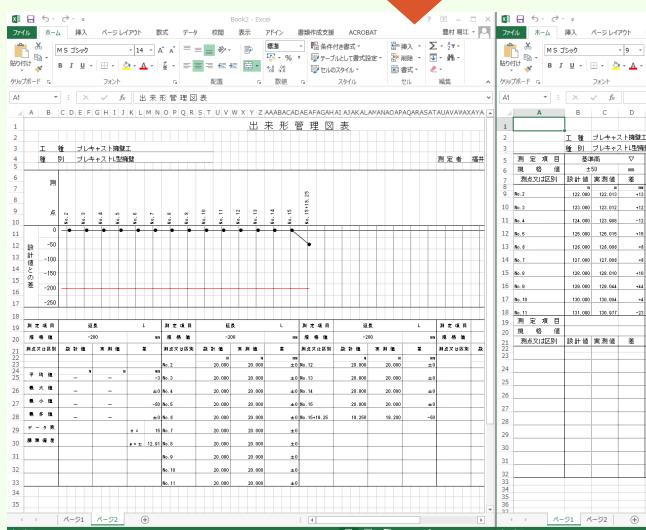
インデックスに成果を登録する

出来形データをExcel形式(*.xls)やPDF形式のファイルとしてインデックスの工事成果に登録することができます。
(操作例では、Excel形式のファイルを登録しています。)

成果データをチェックしながらデータを作成する場合には、より効率的なデータ管理を行うことができます。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [[インデックス]に成果を登録]をクリックします。
- 3 [XLSファイル出力]をクリックします。
- 4 出力するフォームを選択します。
- 5 [出力]をクリックします。



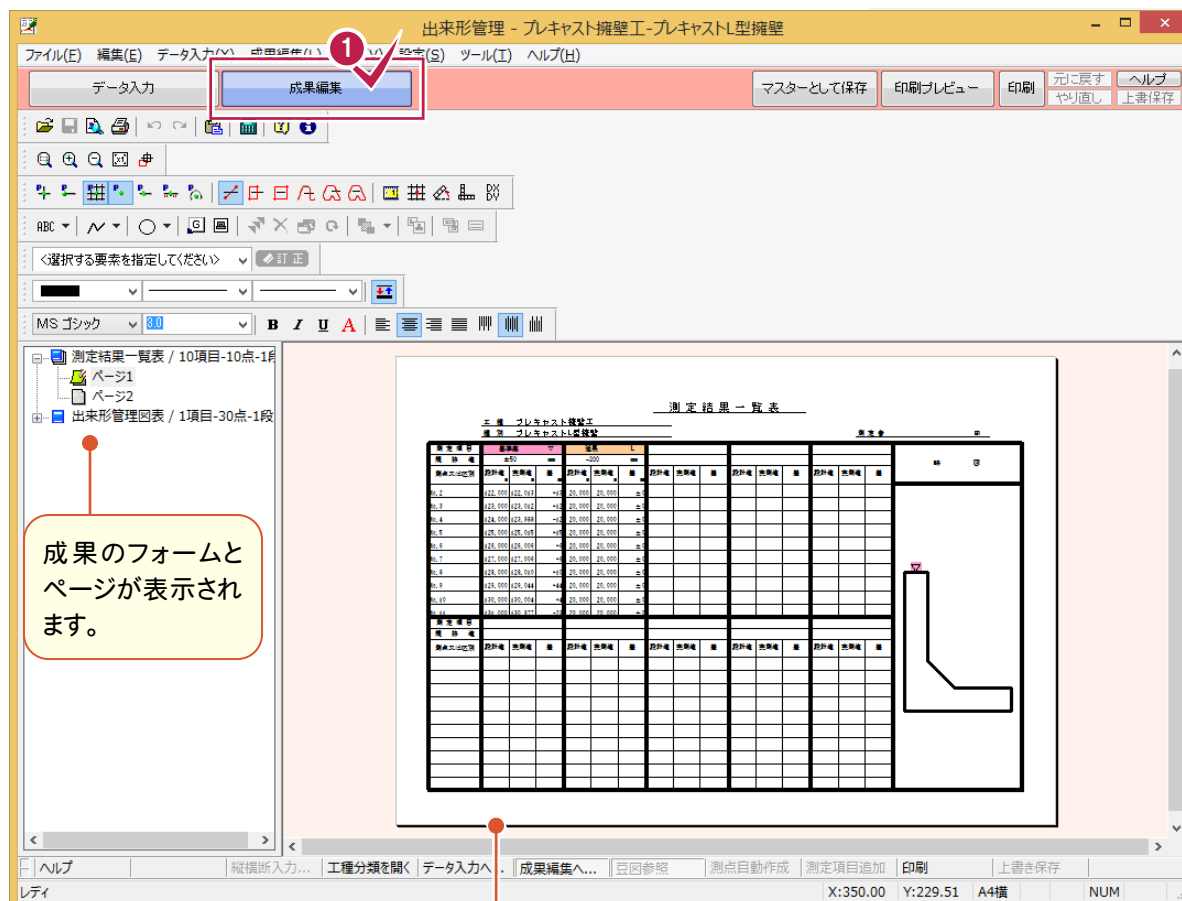
帳票のExcel形式(*.xls)の
ファイルが登録されます。

3 帳票の編集

[成果編集]で帳票を編集してみましょう。

3-1 [成果編集]へ切り替える

[成果編集]へ切り替えます。



成果のフォームとページが表示されます。

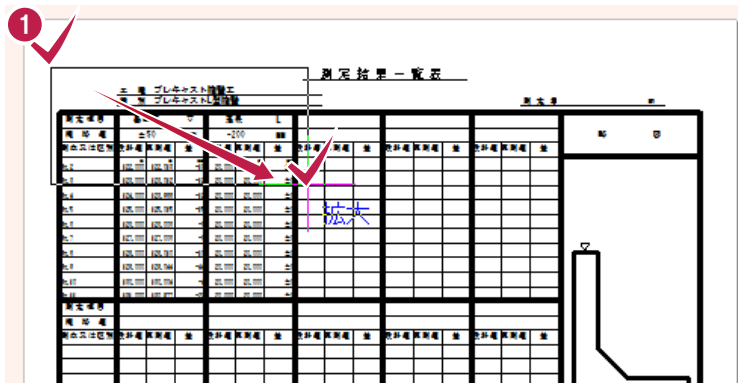
選択されているページが表示されます。
フォームが選択されているときは、フォームのイメージが表示されます。

1 [成果編集]をクリックします。

3-2 画面の表示範囲を拡大・縮小する

画面の表示範囲を指定して拡大します。

ここでは、両ボタンドラッグ（マウスの左右のボタンを両方とも押した状態で、任意の位置や方向にドラッグ）することで拡大する操作方法を解説します。



- 1 拡大する範囲の左上でマウスの両方のボタンを押し、ボタンを押したまま、拡大する範囲の右下までドラッグします。

画面の表示範囲を一定倍率で縮小します。縮小率は[ツール]－[オプション]で設定します。

ここでは、両ボタンドラッグ（マウスの左右のボタンを両方とも押した状態で、任意の位置や方向にドラッグ）することで縮小する操作方法を解説します。

工 種 プレキャスト擁壁工							
種 別 プレキャストL型擁壁							
測 定 項 目	基準高			延長			
規 格 値	± 50			-200			
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設
No.2	122.000	122.013	-13	20.000	20.000	± 0	
No.3	123.000	123.012	+12	20.000	20.000	± 0	

- 1 マウスの両方のボタンを押し、ボタンを押したまま、左上までドラッグします。

メモ

両ボタンドラッグで表示を切り替える

両ボタンドラッグでドラッグする方向（下図の矢印）により、以下のように表示範囲を切り替えます。

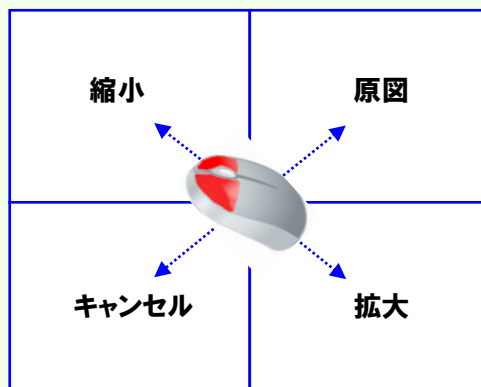
【拡大】：両ボタンドラッグで指定した四角形範囲を拡大表示します。

【縮小】：現在の表示範囲に対し、一定倍率で縮小します。

縮小率は[ツール]－[オプション]で設定します。縦横2倍の範囲に広げて縮小表示します。

【原図】：原図として設定されている範囲を表示します。

【キャンセル】：キャンセルします。



3-3 文字列を訂正する

文字列を訂正します。操作例では、測定者を入力します。

測定者		印
		略 図
実測値	差	

1 測定者の入力箇所をダブルクリックします。

データボックスの書式設定

入力文字 配置 フォント・背景 罫線

2 文字列

☒ 直接入力する

福井 太郎

出力する文字列を直接入力してください。
※Excel出力では、以下のデータが出力されます。

[Excel出力されるデータ]

OK キャンセル

2 [直接入力する]のチェックをオンにして、測定者を訂正します。

3 [OK]をクリックします。

編集したページには、鉛筆マーク()が表示されます。

[直接入力する]のチェックをオンにして修正した場合は右上に赤の三角が表示されます。(印刷時には表示されません。)

測定者	福井 太郎	印

メモ

設計値、実測値を直接入力

設計値、実測値をダブルクリックして表示される[データボックスの書式設定]ダイアログの[入力文字]タブで、[直接入力する]のチェックをオンにすると、設計値、実測値を直接変更することができます。ただし、Excelに出力するデータは変更されません。

3-4 文字列を削除する

文字列を削除します。操作例では、測定者の「印」を削除します。

測定者 福井 次郎			
			略 図
直	実測値	差	



データボックスの書式設定

入力文字

配置

フォント・背景

罫線

文字列

☒ 直接入力する

出力する文字列を直接入力してください。

※Excel出力では、以下のデータが出力されます。

[Excel出力されるデータ]

印

OK

キャンセル



測定者 福井 次郎			
			略 図
直	実測値	差	

[直接入力する]のチェックをオンにして修正した場合は右上に赤の三角が表示されます。(印刷時には表示されません。)

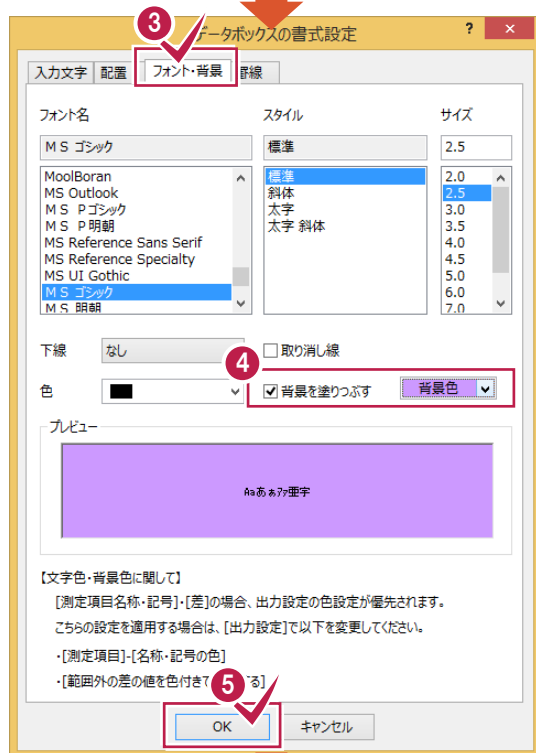
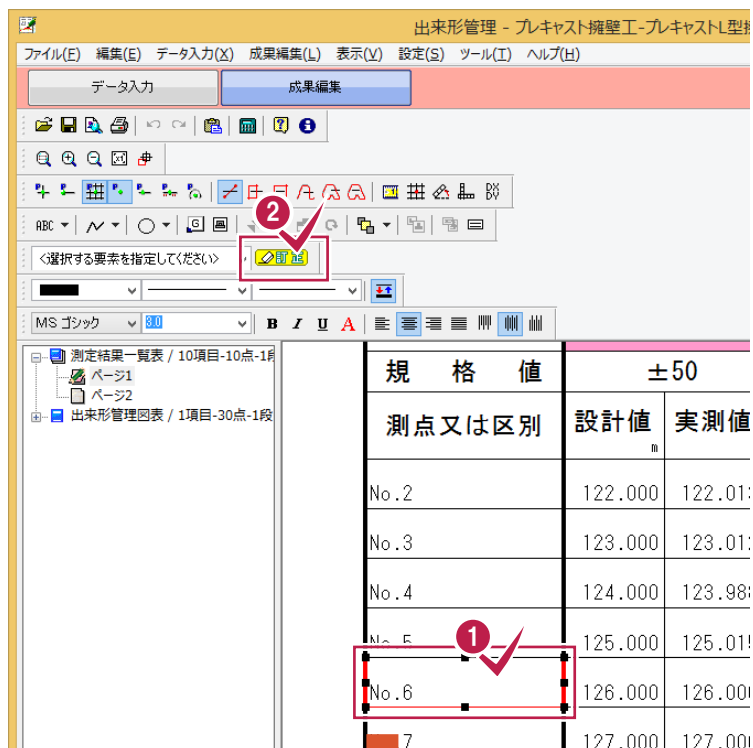
1 「印」をダブルクリックします。

2 [直接入力する]のチェックがオンの状態で、文字列を削除します。

3 [OK]をクリックします。

3-5 セルの色を訂正する

セルの色を訂正します。操作例では、「No.6」のセルの色を訂正します。



規格値	±50 mm			-200 mm			
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値
No.2	122.000	122.013	+13	20.000	20.000	±0	
No.3	123.000	123.012	+12	20.000	20.000	±0	
No.4	124.000	123.988	-12	20.000	20.000	±0	
No.5	125.000	125.015	+15	20.000	20.000	±0	
No.6	126.000	126.006	+6	20.000	20.000	±0	
No.7	127.000	127.008	+8	20.000	20.000	±0	

1 色を訂正するセルをクリックします。

2 [訂正]をクリックします。

3 [フォント・背景]タブをクリックします。

4 [背景を塗りつぶす]のチェックをオンにして背景色を設定します。

5 [OK]をクリックします。

3-7 文字列を追加する

文字列を追加します。

引き出し文字を入力するときは
[ABC]の横の[▼]をクリックして
[引き出し文字]をクリックします。

1 [ABC]をクリックします。

2 文字間隔などを設定します。

3 「線種なし」にします。

4 5 文字列を入力する範囲をクリックします。

6 文字列を入力します。

7 文字列の入力を終了したら、[キャンセル]をクリックします。

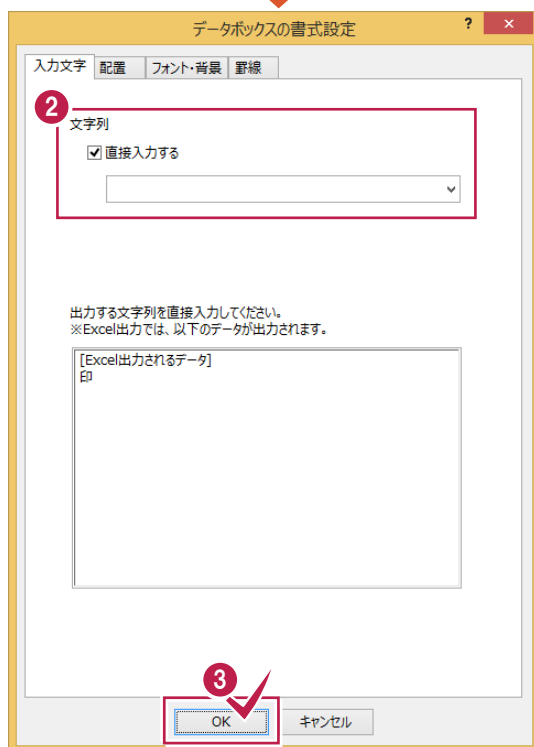
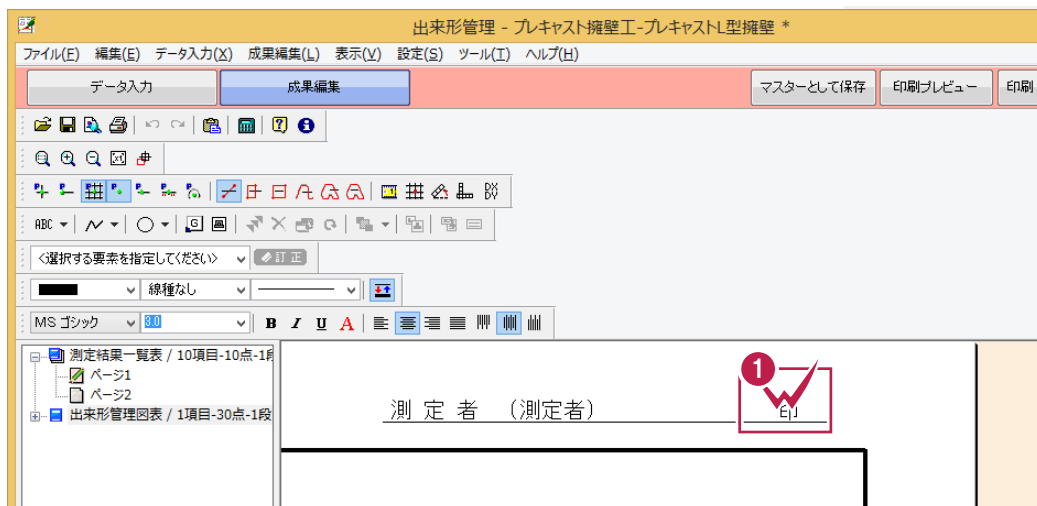
メモ ページの編集内容の初期化
[成果編集]－[ページ編集初期化]で、ページの編集内容をすべて初期状態に戻すことができます。

3-8 フォーム内のすべてのページを編集する

フォームを編集すると、フォーム内のすべてのページに反映されます。
操作例では「出来形管理図表」の「印」を削除します。

注意

ページを編集後にフォームの編集を行っても、既に編集されたページにはフォームの編集は反映されません。
したがってフォームの編集は、ページの編集の前に行うことをお勧めします。



1 「印」をダブルクリックします。

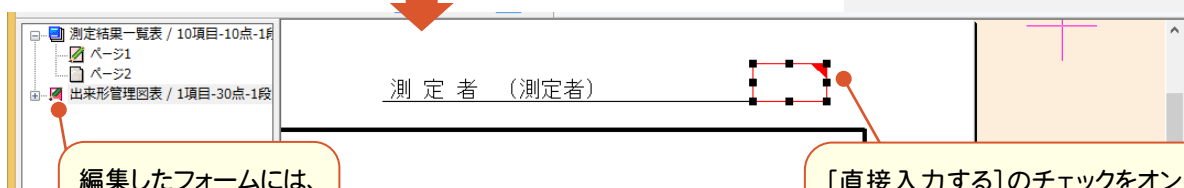
2 [直接入力する]のチェックがオン
の状態、文字列を削除します。

3 [OK]をクリックします。

メモ

出来形フォームの修正

操作例では、初期出荷時に用意されているフォーム
を使用して出来形成果を作成する操作を解説して
います。
[施工管理フォーマット]で出来形のフォームを修正
することもできます。

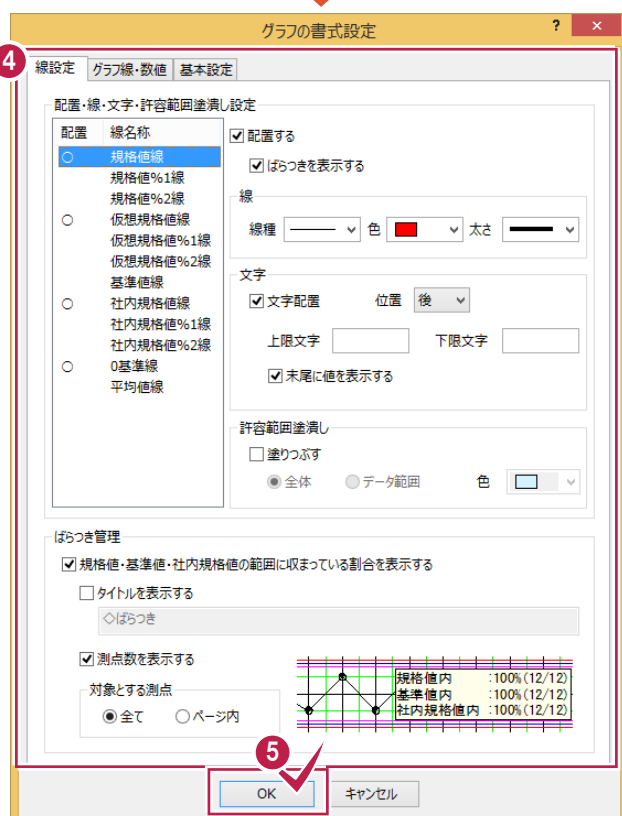
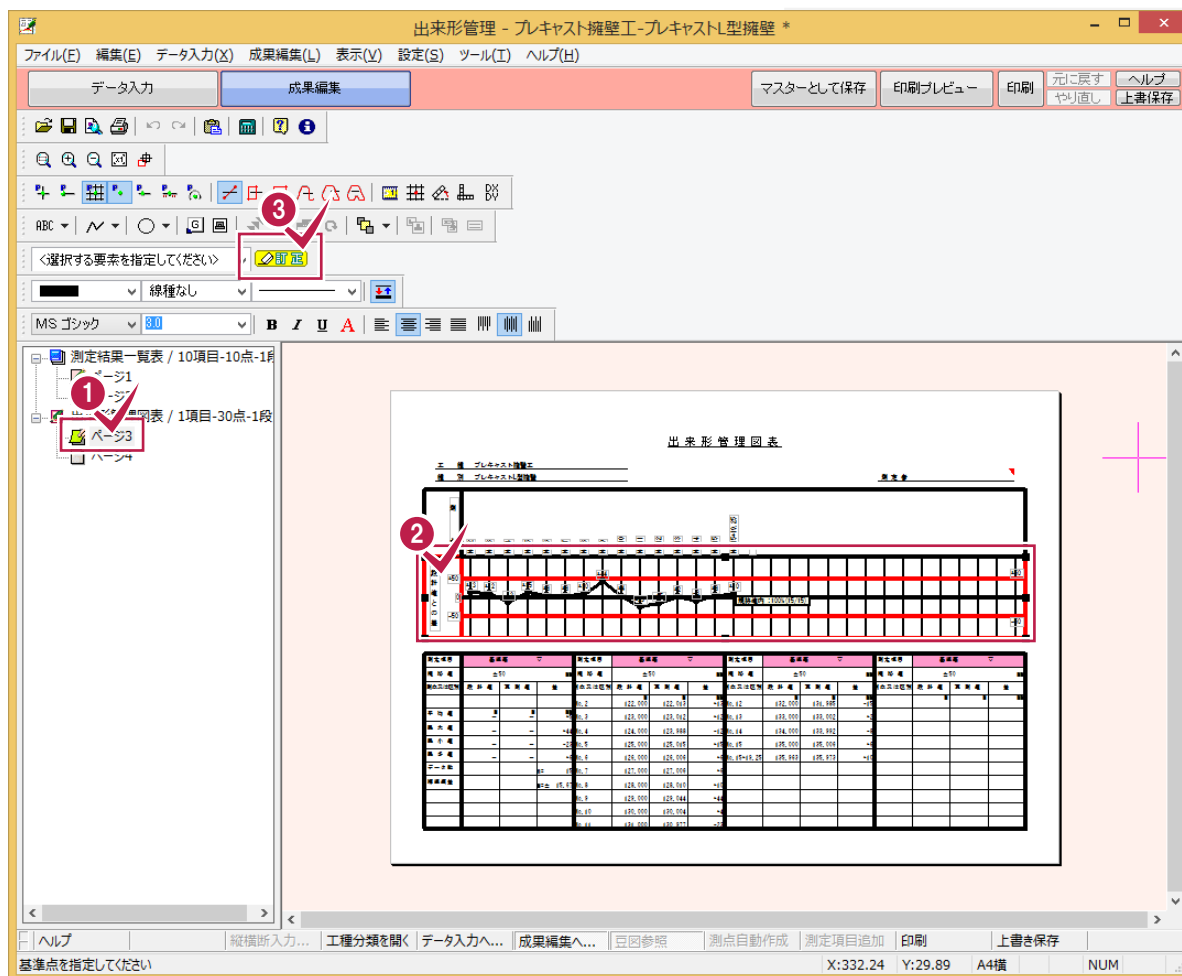


編集したフォームには、
鉛筆マーク()が
表示されます。

[直接入力する]のチェックをオンにして修正
した場合は右上に赤の三角が表示されます。
(印刷時には表示されません。)

3-9 グラフを訂正する

グラフを訂正します。操作例では「3ページ」(出来形管理図表)のグラフの属性を確認します。



- 1 ページを選択します。
- 2 グラフを選択します。
- 3 [訂正]をクリックします。
- 4 [線設定][グラフ線・数値][基本設定]タブで、グラフの書式を訂正できます。ここでは、確認のみ行います。
- 5 [OK]をクリックします。



グラフの書式設定について詳しく教えてください。

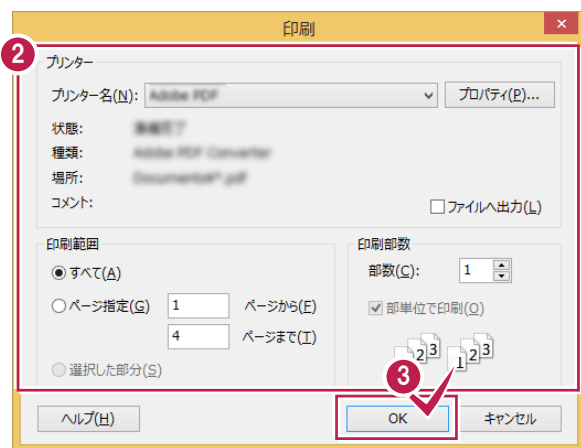
「032_ナビちゃんをつぶやき(出来形管理).pdf」の「04 グラフの書式設定について」(P.6)を参照してください。

4 帳票の印刷

帳票を印刷してみましょう。

4-1 帳票を印刷する

作成、編集した帳票を印刷します。



- 1 [印刷]をクリックします。
- 2 プリンター、印刷範囲、印刷部数などを設定します。
- 3 [OK]をクリックします。

メモ

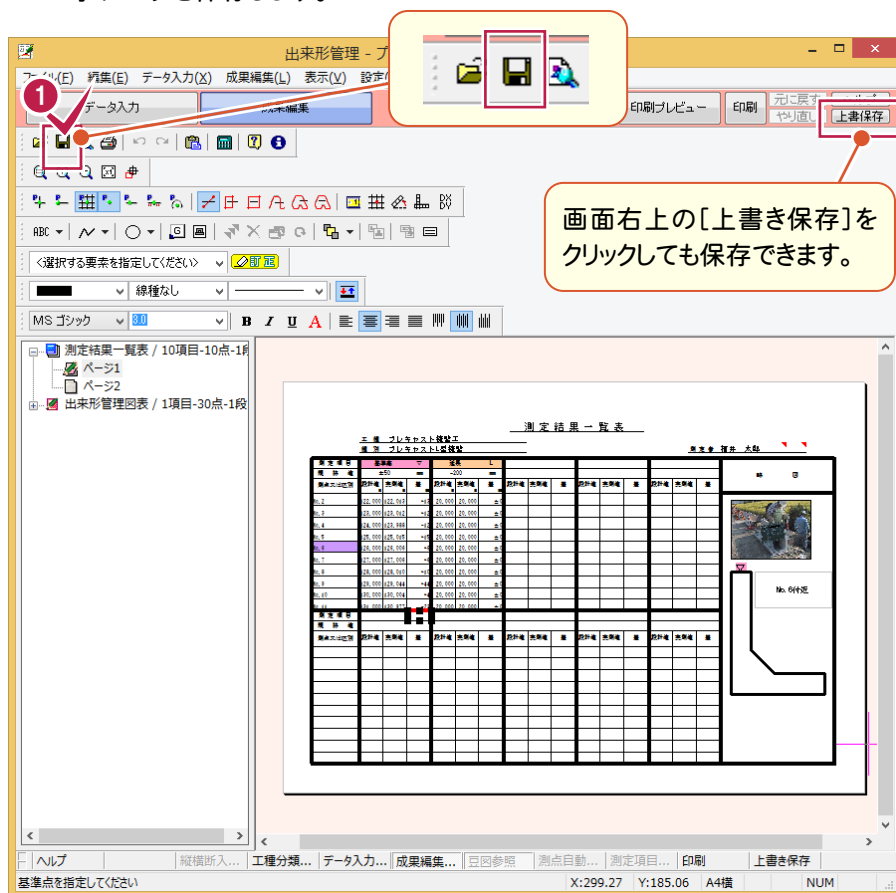
印刷プレビューでの確認

操作例では、直接[印刷]で操作を行いました。が[印刷プレビュー]を使用して、印刷イメージを確認してから印刷を実行すると、より正確な出力を行うことができます。



4-2 データを保存する

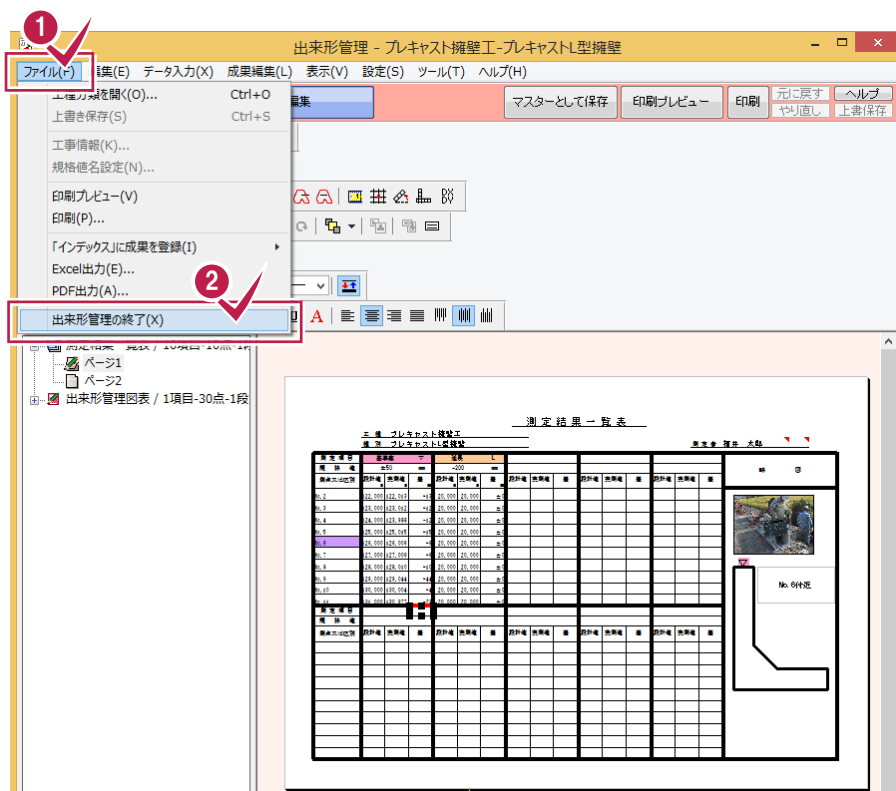
工事データを保存します。



- 1 [上書き保存]のアイコンをクリックします。

4-3 [出来形管理]を終了する

[出来形管理]を終了します。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [出来形管理の終了]をクリックします。

写真・出来形管理



写真管理をお持ちのお客様は、
[写真管理]で出来形のデータを
入力することもできます。
ここでは、新規工事を作成して、
[写真管理]で出来形データを
入力してみましょう。
その後、[出来形管理]を起動して、
帳票を作成してみましょう。

- 1 新規工事作成
- 2 写真の取り込み
- 3 出来形データの入力
- 4 帳票の作成

1 新規工事作成

新規工事を作成してみましょう。

1 新規工事作成

1-1 新規に工事を作成する

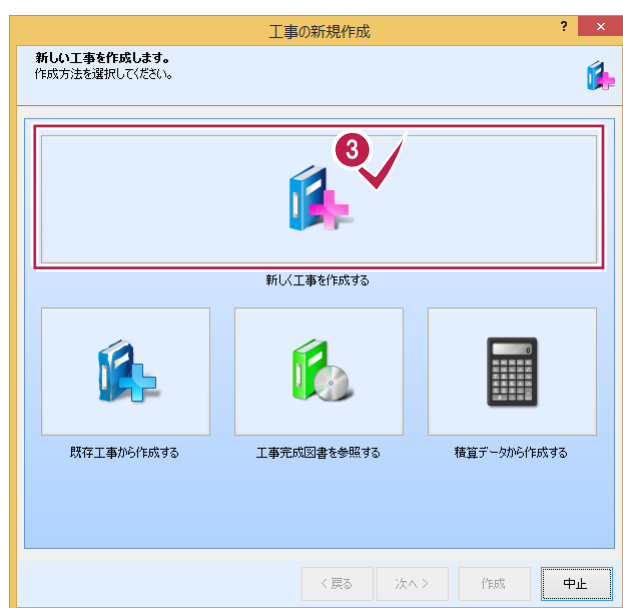
[EX-TREND武蔵 インデックス]の[新規工事]の[新しく工事を作成する]で新規に工事を作成します。



- 1 [EX-TREND武蔵 インデックス]をダブルクリックします。



- 2 [新規工事]をクリックします。
- 3 [新しく工事を作成する]をクリックします。



工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。
工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

4 工事名称 サンプル写真・出来形管理工事

発注年度(西暦) 2015

工事番号

工事箇所

河川路線名等

工期開始・終了日 2015年 5月28日 ~ 2015年 7月 7日

諸負金額 0 円

工事内容

5 ☐ 電子納品を行う

要領・基準案の選択...

成果設定 出荷時設定 武蔵

GORINS読み込み...

アイコン

工事カラー ここをクリックします

6 作成

< 戻る 次へ > 中止

- 4 工事名称を入力します。
- 5 操作例では電子納品を行わないので、
[電子納品を行う]のチェックをオフに
します。
- 6 [作成]をクリックします。



EX-TREND 武蔵 インデックス

ファイル(E) 工事(K) 分担作業(S) 表示(I) ツール(T) ヘルプ(H)

名称	工事	工事名称	施工状況	工期開始日	工期終了日	最終更新日
グループ	サンプル写真・出来形管理工事	着工前	2015/05/28	2015/07/07	2015/05/28	

工事情報

電子納品

工事内容(工種)

工事名変更 CORINS取込 基準案設定 積算データ取込 工事テンプレート

受注者名変更 既存工事参照 積算データ確認 既存データ参照

最新に更新

終了

今日のイベント: 0件 グループ: グループ C:\%App%\EX-TREND 武蔵\工事データ\サンプル写真・出来形

2 写真の取り込み

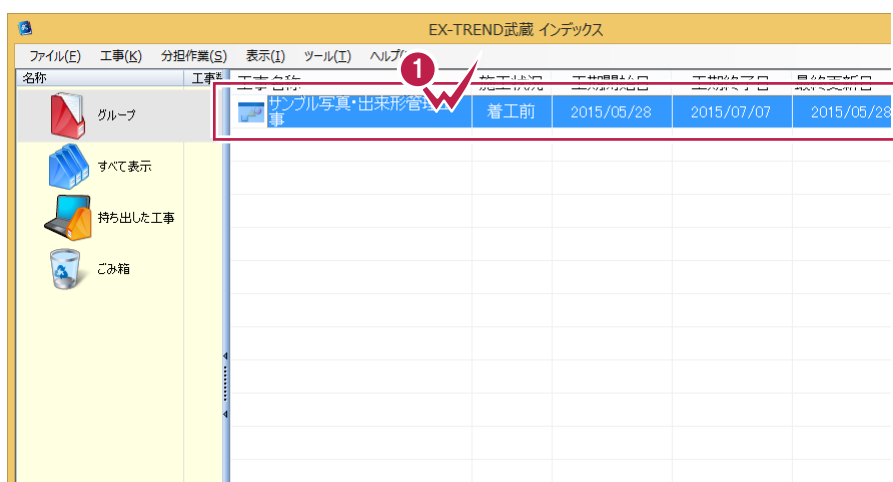
[写真管理]で写真を取り込んでみましょう。

2-1 [写真管理]を起動する

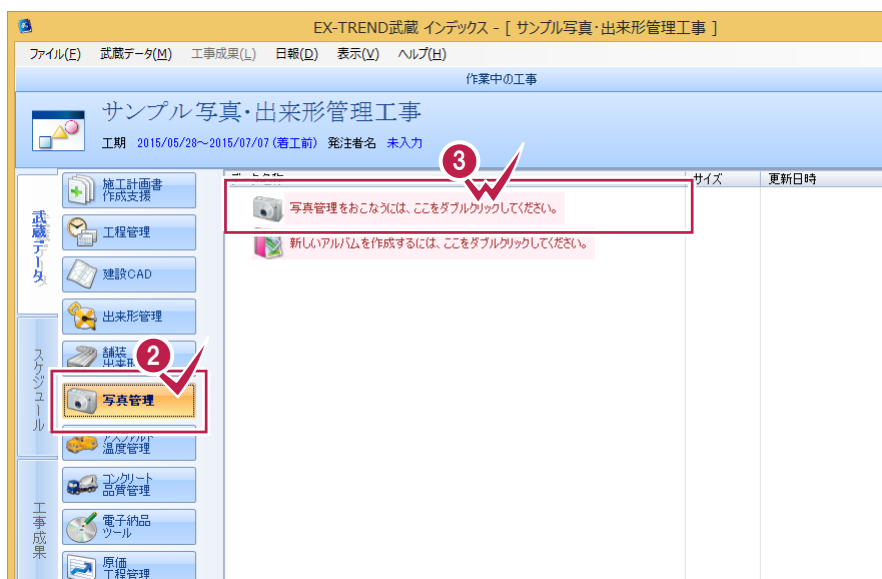
[写真管理]を起動します。

2

写真の取り込み



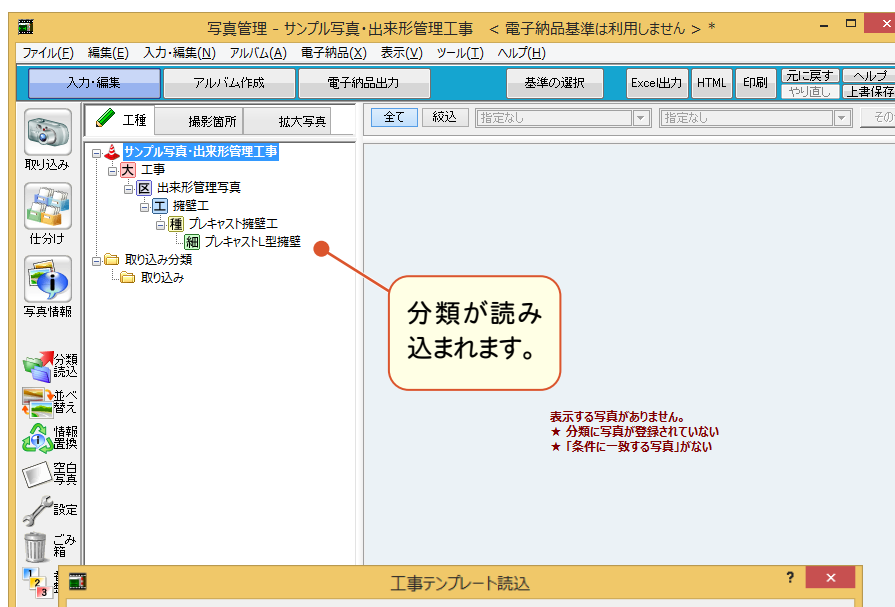
1 作成した工事をダブルクリックします。



2 [写真管理]をクリックします。

3 [写真管理をおこなうには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。





4 テンプレート名、グループ名、登録名を選択します。
ここでは、以下のように選択します。
[テンプレート名]: テンプレート
[グループ名]: 道路
[登録名]: 道路改良

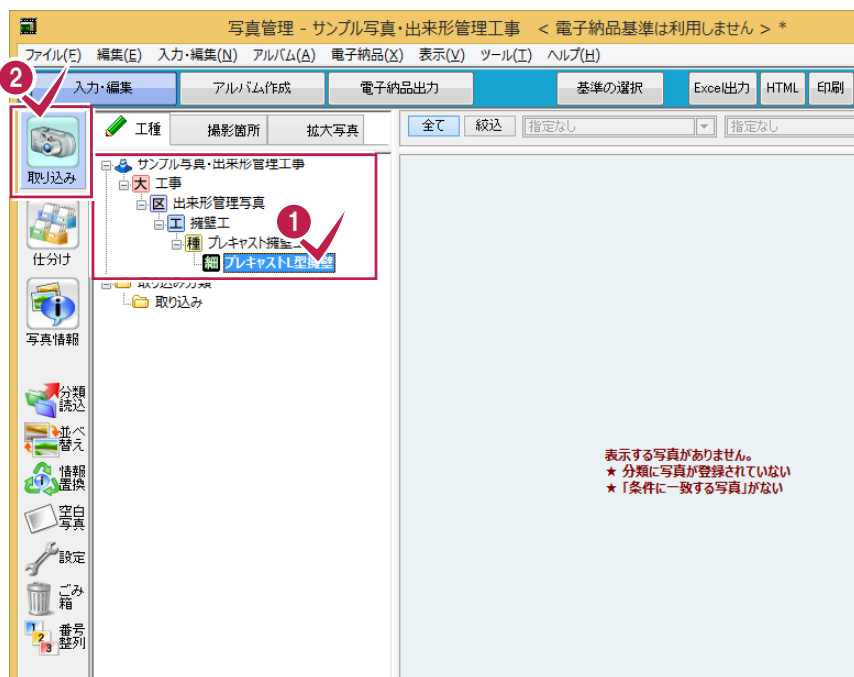
5 分類を選択します。
ここでは「出来形管理写真」-「擁壁工」-「プレキャスト擁壁工」-「プレキャストL型擁壁」を選択します。

6 「読込」をクリックします。

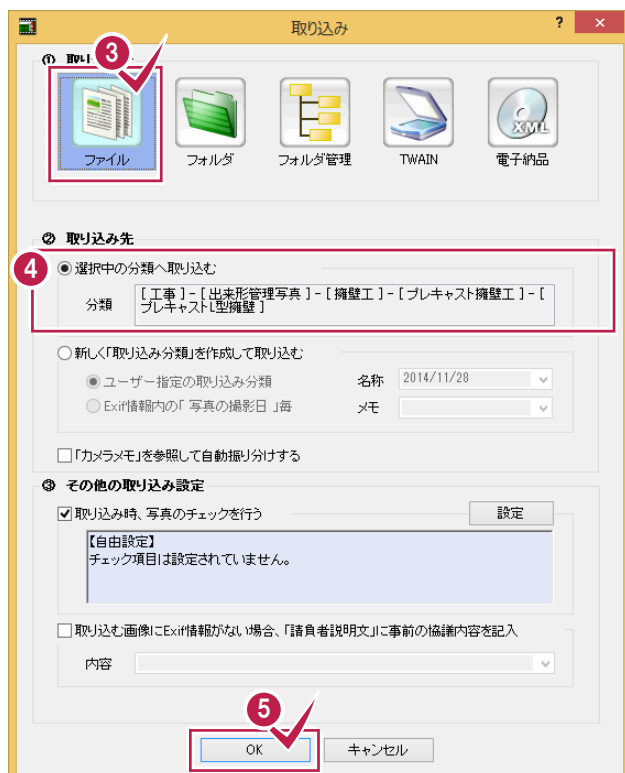
7 「終了」をクリックします。

2-2 写真を取り込む

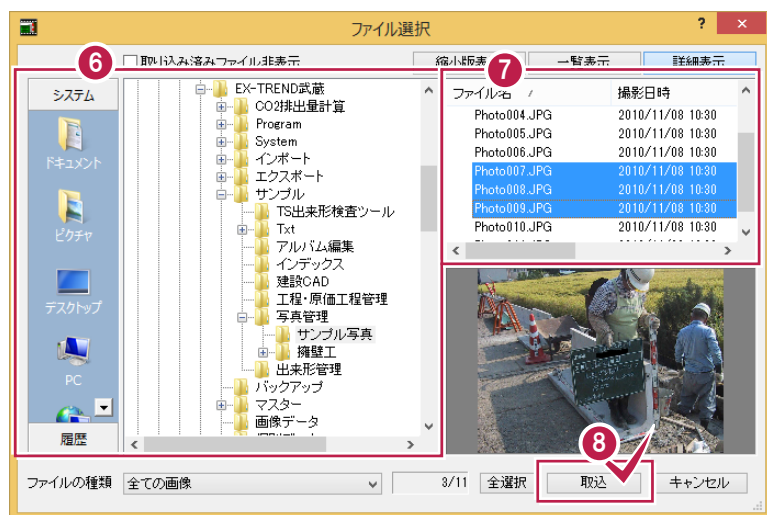
操作例では、[取り込み]の[ファイル]でファイルを指定して取り込みます。



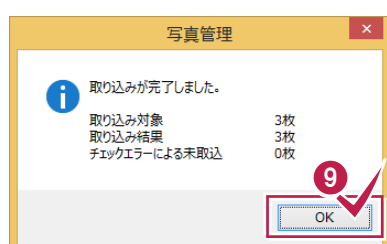
- 1 写真を取り込む分類をクリックします。
- 2 [取り込み]をクリックします。



- 3 [ファイル]をクリックします。
- 4 [取り込み先]で[選択中の分類へ取り込む]が選択されていることを確認します。
- 5 [OK]をクリックします。



- 6 写真の保存先を選択します。
- 7 取り込む写真を選択します。
- 8 [取込]をクリックします。



- 9 [OK]をクリックします。



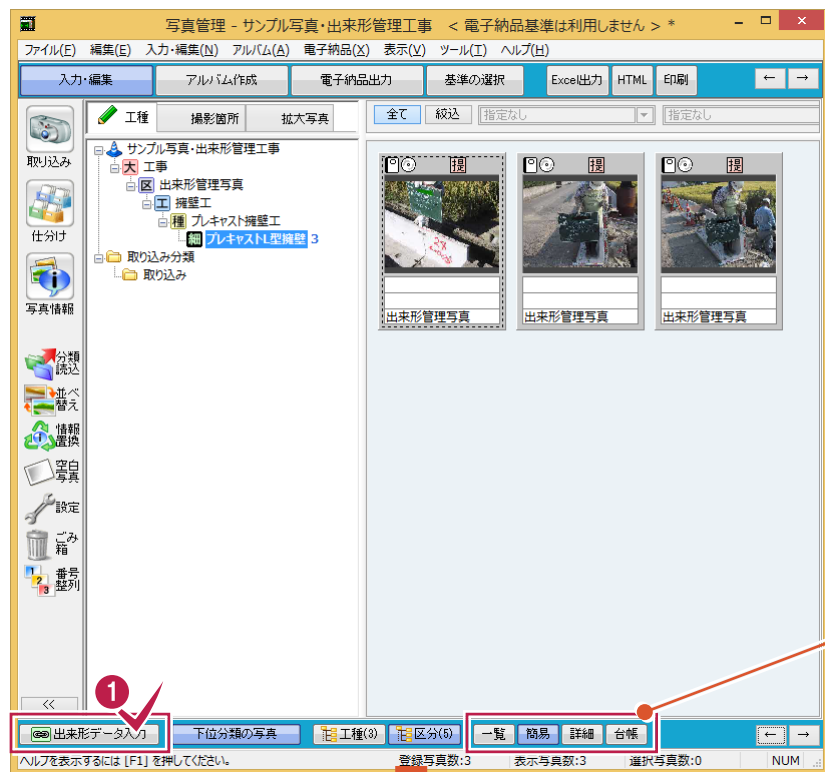
3 出来形データの入力

出来形データを入力してみましょう。

3-1 出来形データを入力する

[出来形データ入力]で出来形データを入力します。

3 出来形データの入力



1 [出来形データ入力]をクリックします。

写真の表示を切り替えできます。
 [一覧]: 写真の表示を一覧表示 (リスト表示) に切り替えます。
 [簡易]: 写真の表示を簡易表示 (サムネイル表示) に切り替えます。
 [詳細]: 写真の表示を詳細表示 (サムネイル+写真情報表示) に切り替えます。
 [台帳]: 写真を台帳イメージで表示します。



2 [新規の分類を作成]をクリックします。

測定項目条件設定

分類情報
グループ: プレキャスト擁壁工
工種: プレキャスト擁壁工
種別: プレキャスト型擁壁
設計数量:
設計単位:
測定者:
メモ(分類):

測定項目条件
追加 変更 他工種
複写 削除 組合せ
測定項目 記号 計算式

実測値・差の凡例
実測値1-差1 出来形管理対象
実測値2-差2 品質証明計測値
実測値3-差3 監督職員計測値
実測値4-差4 検査職員計測値

3 [他工種]をクリックします。

工事テンプレート読込

4 テンプレート名: 参考フォルダ
テンプレート:
グループ名: 道路
登録名: 道路改良
メモ: デジタル写真管理情報基準(案) [H14.7]のサンプル

5 プレキャスト型擁壁工

6 読込

測定項目 記号
延長 L

4 テンプレート名、グループ名、登録名を選択します。
ここでは、以下のように選択します。[テンプレート名]: テンプレート
[グループ名]: 道路
[登録名]: 道路改良5 分類を選択します。
ここでは、「出来形管理写真」-「擁壁工」-「プレキャスト擁壁工」-「プレキャスト型擁壁」を選択します。

6 [読込]をクリックします。

7 [はい]をクリックします。

8 分類情報、測定項目条件を設定します。

9 [OK]をクリックします。

写真管理

? 選択された工種に設定されている豆図も読み込みますか?
(読み込まれた豆図は分類情報コマンドで変更または削除できます。)

7 はい(Y) いいえ(N)

測定項目条件設定

8 分類情報
グループ: 擁壁工
工種: プレキャスト擁壁工
種別: プレキャスト型擁壁
設計数量:
設計単位:
測定者:
メモ(分類):

測定項目条件
追加 変更 他工種
複写 削除 組合せ
測定項目 記号 計算式
基準高
延長 L

単位・規格値・基準値 管理基準
計算式設定
設計・実測値
単位: m 小数桁: 3桁 ☒ カンマを表示する
差 単位: mm 小数桁: 0桁 ☐ カンマを表示する
計算倍率: 1000 倍 計算方法: 実測値-設計値
測定年月日: 2014年 11月 11日 測定時間:
メモ(測定項目):

規格値・基準値・社内規格値
※「設計値以上」等の式にする場合はタイプをクリックして式設定してください。 ☐ 社内規格値を%指定する

選択	設計値の範囲	規格値	基準値										
	下限	上限	タイプ	下限	上限	式/仮想値	タイプ	下限	上限	式設定	タイプ	下限	上限
1	○												
2													
3													
4													

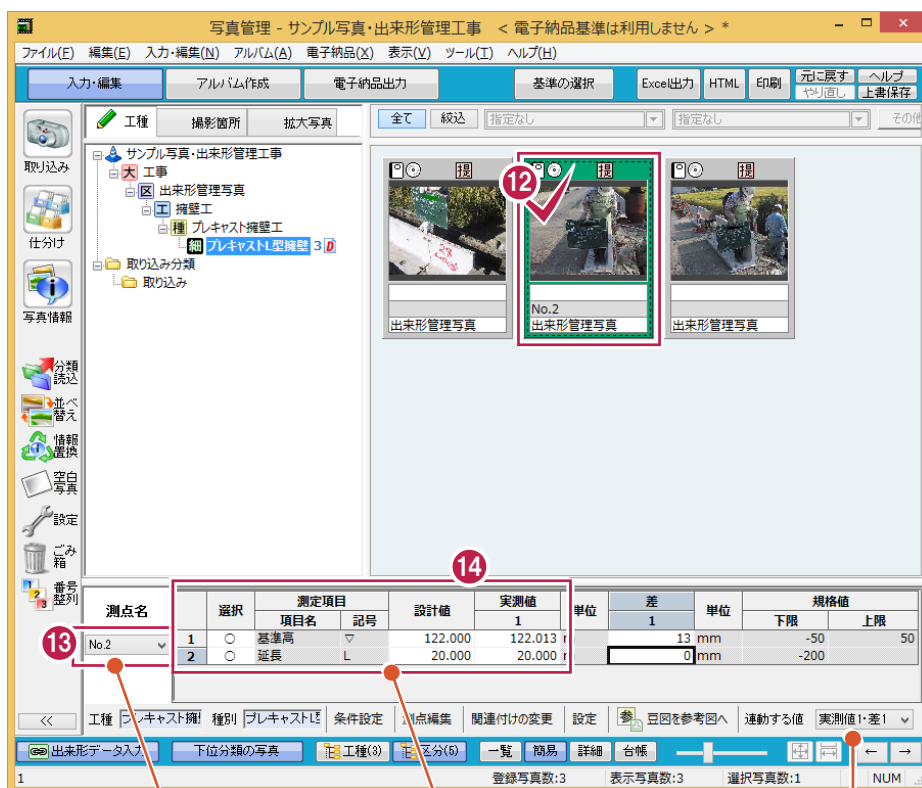
項目名で並び替え ☒ 昇順 ☐ 降順
記号名で並び替え
元の並び順
社内規格値一括%指定

9 OK キャンセル

[豆図読込]で豆図を編集できます。
[豆図解除]で豆図を削除できます。

[測定項目条件設定]の項目について教えてください。

「032_ナビちゃんのつぶやき(出来形管理).pdf」の「02 [測定項目条件設定]の項目について」(P.3)を参照してください。



10 測点名を入力します。

11 [OK]をクリックします。

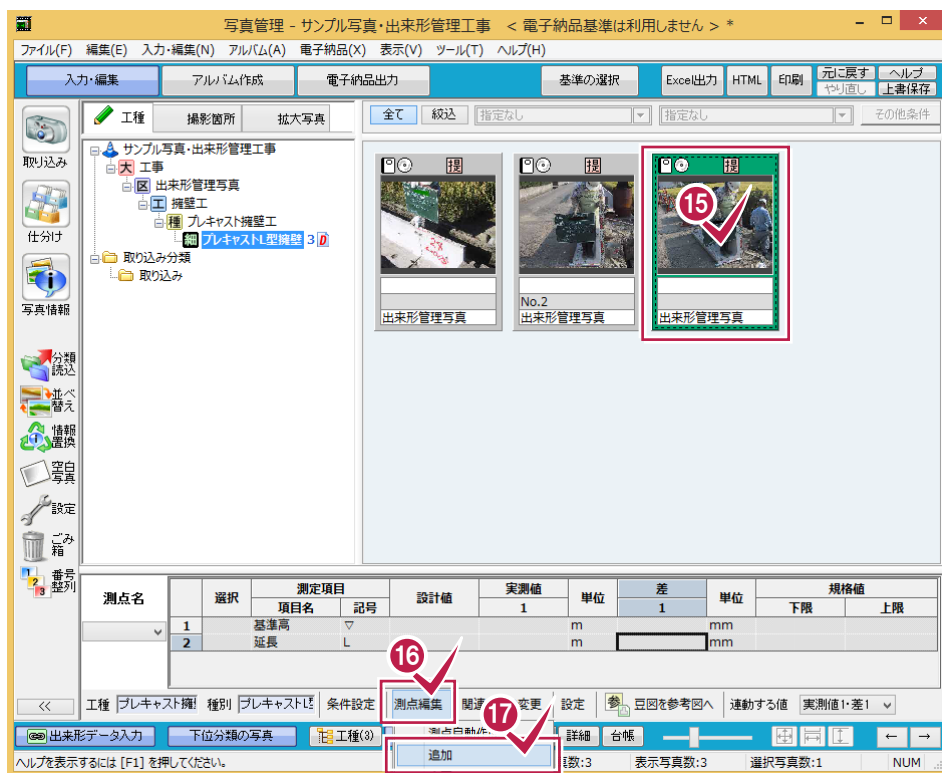
12 出来形データを入力する写真をクリックします。

13 測点名を選択します。

14 測定項目の設計値・実測値を入力します。
施工管理値に適用する測定項目の[選択]を「○」にします。

写真情報の[撮影箇所]に測点名、[施工管理値]に[選択]を「○」にした測定項目の[連動する値]が適用されます。

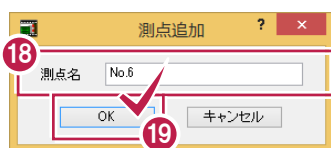




15 次に出来形データを入力する写真をクリックします。

16 [測点編集]をクリックします。

17 [追加]をクリックします。

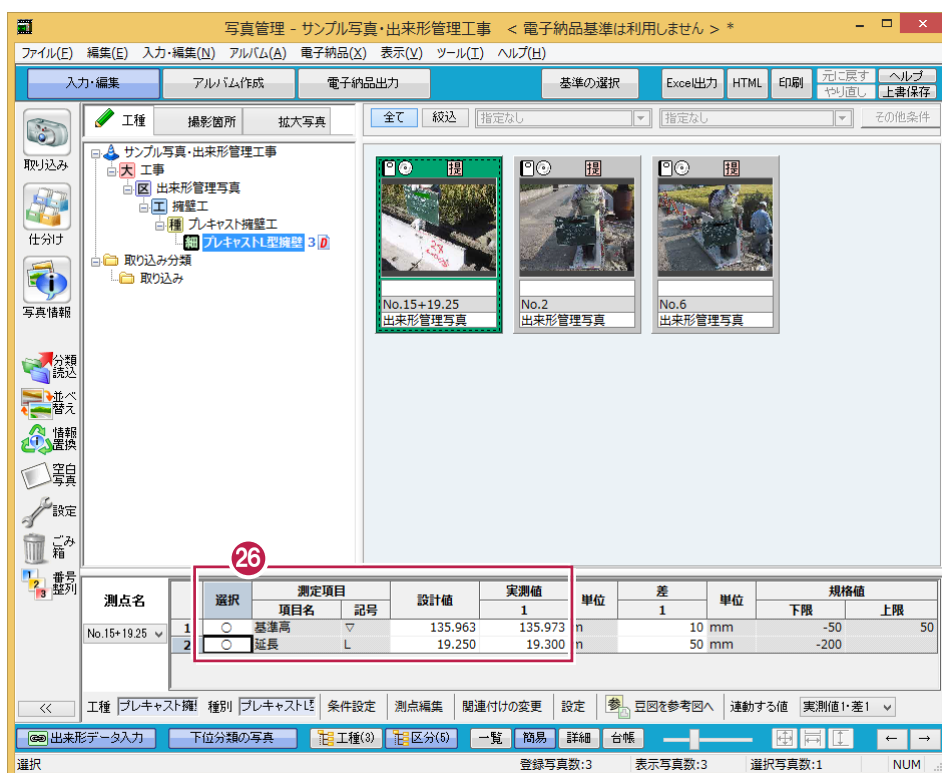
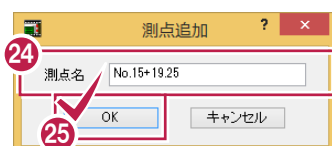
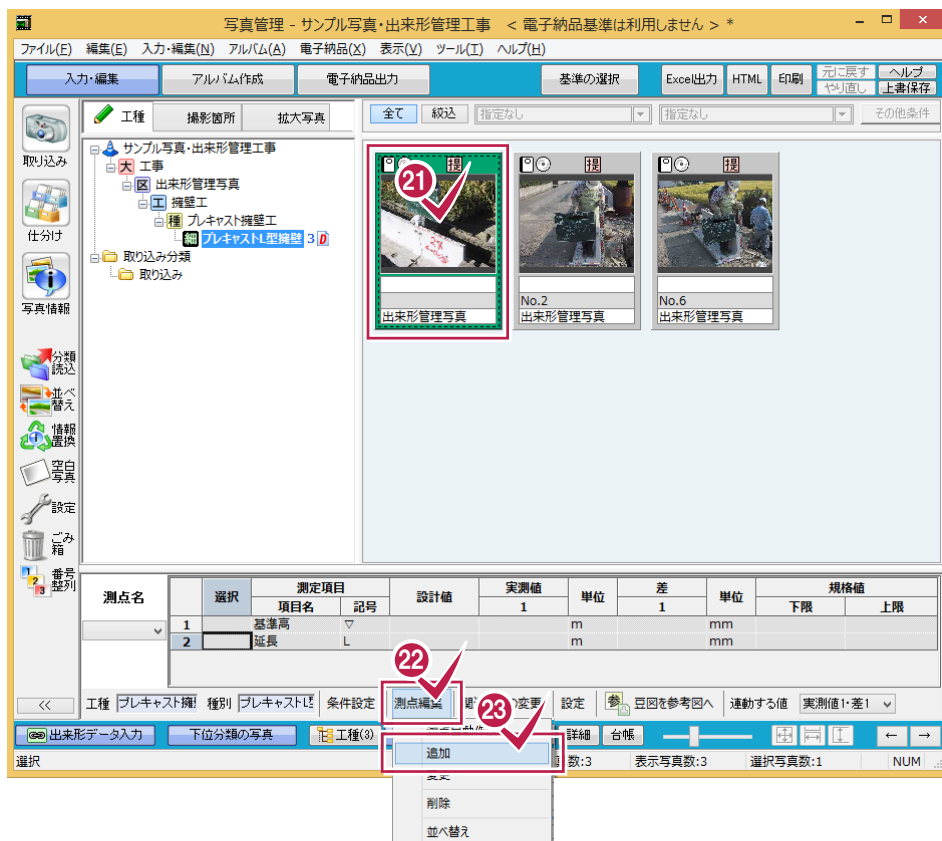


18 測点名を入力します。

19 [OK]をクリックします。



20 測定項目の設計値・実測値を入力します。
施工管理値に適用する測定項目の[選択]を「○」にします。



21 同様に、出来形データを
入力する写真をクリック
します。

22 [測点編集]をクリック
します。

23 [追加]をクリックします。

24 測点名を入力します。

25 [OK]をクリックします。

26 測定項目の設計値・実測
値を入力します。
施工管理値に適用する
測定項目の[選択]を「○」
にします。

3-2 上書き保存して、終了する

上書き保存して、終了します。



1 [ファイル]をクリックします。

2 [上書き保存]をクリックします。



3 [ファイル]をクリックします。

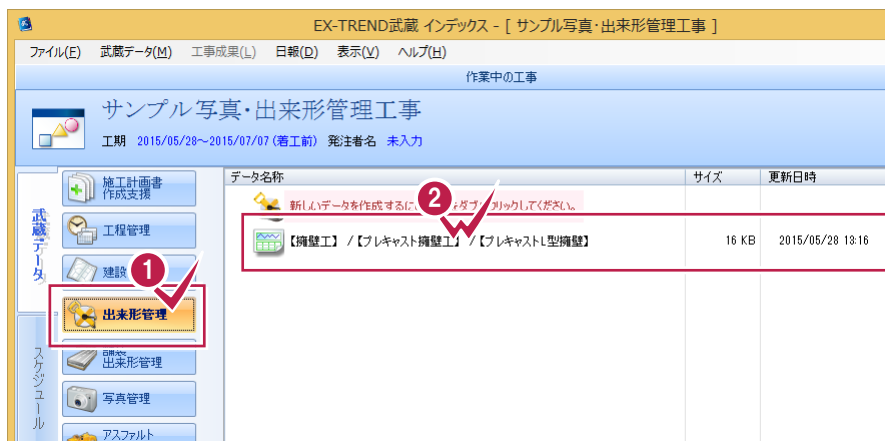
4 [「写真管理」の終了]をクリックします。

4 帳票の作成

[出来形管理]で帳票を作成してみましょう。

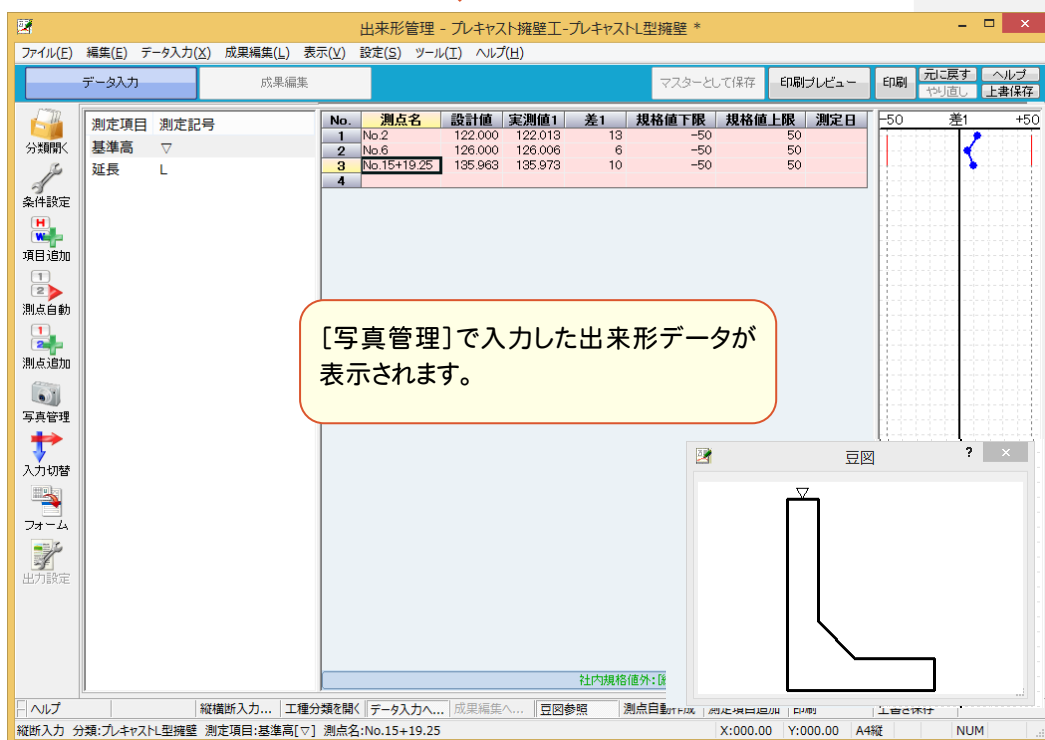
4-1 [出来形管理]を起動する

[出来形管理]を起動します。



1 [出来形管理]をクリックします。

2 [写真管理]で入力した出来形データをダブルクリックします。



メモ 測点の順番を並べ替える

[データ入力]—[測点]—[並べ替え]で、測点の順番を並べ替えることができます。

4-2 フォームを選択する

フォームを選択します。

メモ

出来形フォーマットの作成・登録

操作例では、初期出荷時に用意されている出来形フォーマットを使用して出来形成果を作成する操作を解説します。

No.	測点名	設計値	実測値1	差1	規格値下限	規格値上限	測定日
1	No.2	122.000	122.013	13	-50	50	
2	No.6	126.000	126.006	6	-50	50	
3	No.15+19.25	135.963	135.973	10	-50	50	
4							

1 [フォーム]をクリックします。



グループの選択: 0000 国土交通省

使用するフォーム:

使用する [4] 使用する [3]

OK キャンセル

2 グループを選択します。

3 使用するフォームをクリックします。

4 [使用する]をクリックします。

「バリエーション」が登録されているフォームを選択すると、測定項目数・測点数・段数を指定するダイアログが表示されます。「バリエーション」が登録されているフォームは、複数用の画像が表示されます。
「バリエーション」とは、同一フォームで「測定項目数」「測点数」「段数」が異なるフォームです。
使用するフォームには測定項目数・測点数・段数が表示されます。





- 5 測定項目数を選択します。
- 6 [OK]をクリックします。
- 7 同様に、使用するフォームをクリックします。
- 8 [使用する]をクリックします。
- 9 [OK]をクリックします。

出来形管理 - プレキャスト擁壁工-プレキャストL型擁壁 *

ファイル(E) 編集(E) データ入力(X) 成果編集(L) 表示(V) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

データ入力 成果編集 マスターとして保存 印刷プレビュー 印刷 元に戻す ヘルプ
やり直し 上書き保存

分類開く 測定結果一覧表 / 10項目-10点-1段 ページ1
出来形管理図表 / 1項目-30点-1段 ページ2
ページ3

条件設定 項目追加 測点自動 測点追加 写真管理 入力切替 フォーム 出力設定

選択したフォームが表示されます。ページをクリックして、入力されているデータを確認してください。

No.	測点名	設計値	実測値1	差1	規格値下限	規格値上限	測定日
1	No.2	122.000	122.013	13	-50	50	
2	No.6	126.000	126.006	6	-50	50	
3	No.15+19.25	135.963	135.973	10	-50	50	
4							

測定項目 測定記号
基準高 ▽
延長 L

社内規格値外:[緑] 基準値外:[青] 規格値外:[赤]

ヘルプ 縦横断入力... 工程分類を開く データ入力... 成果編集... 豆図参照 測点自動作成 測定項目追加 印刷 上書き保存
データ入力 X:423.98 Y:145.70 A4横 NUM

以降の操作は、「出来形管理」の
「2 出来形データの入力」の
「2-6 成果の出力条件を設定する」(P.14)
「3 帳票の編集」(P.18)
「4 帳票の印刷」(P.27)を
参照してください。



TS出来形

[出来形管理]を起動して、
TS出来形のデータを読み
込んでみましょう。

その後、データを確認して、
帳票を作成してみましょう。



1 TS出来形データの読み込み

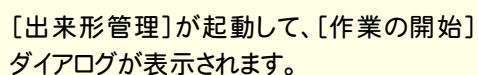
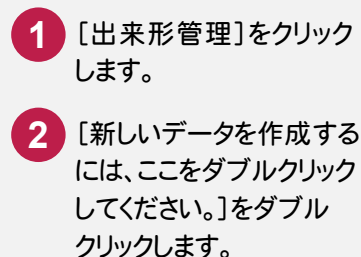
2 帳票の確認

3 帳票の印刷

4 TS出来形データの書き込み

[出来形管理]を起動して、TS出来形データを読み込んでみましょう。

操作例では、EX-TREND武蔵 インデックスの[武蔵データ]から[出来形管理]を起動します。

48

1-2 TS出来形データXMLファイルを読み込む

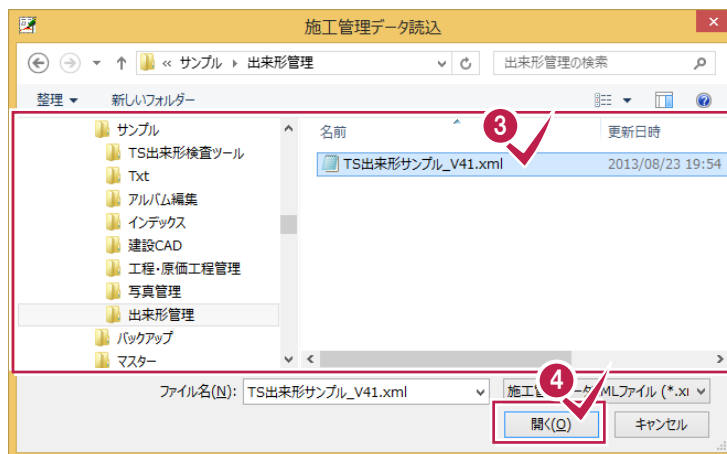
TS出来形データXMLファイルを読み込みます。

操作例では「EX-TREND武蔵¥サンプル¥出来形管理」フォルダーの中にある「TS出来形サンプル_V41.xml」を読み込みます。



1 [TS出来形(情報化施工)]をクリックします。

2 [データ読み込]をクリックします。



3 TS出来形データXMLファイルを指定します。

4 [開く]をクリックします。



メモ

複数の施工管理データXMLファイルを読み込む場合

複数の施工管理データXMLファイルを選択して読み込むことができます。

ただし、線形名が異なる場合は、合成できません。線形名を同じにしてください。

施工管理データ読込

施工管理データXMLファイル
 C:\FcApp\EX-TREND武蔵\サンプル\出来形管理\TS出来形サンプル_V41.xml 参照

5 次の施工管理情報を読み込みます。
読み込む線形名を選択してください。 設計選択

線形名	路線名	工事名	測定者
☒ サンプルデータ	サンプルデータ	サンプル新設工事	

6 道路/河川読み込み設定

☒ 道路方向で読み込む (道路工事の場合に指定してください)
☐ 河川方向で読み込む (河川工事の場合に指定してください)

7 読み込み方法

☒ 測定項目を任意で設定する
☐ 測定項目を自動設定する

8 分類データのまとめ方

☒ 「構築形状の識別名」でまとめる
☐ 「横断構成の種別」でまとめる

9 帳票の初期設定

☒ 様式81 ☐ 様式81～様式85

規格値/基準値/社内規格値設定

基準値/社内規格値に規格値の % の値を設定する

10 読込開始 キャンセル

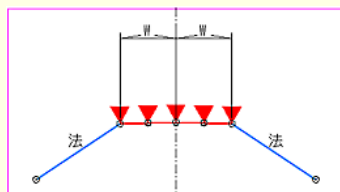
- 5 読み込む線形名のチェックをオンにします。
- 6 道路工事か河川工事かを選択します。
- 7 測定項目を変更可能にするか、自動で設定して変更不可にするかを選択します。
- 8 分類データのまとめ方を選択します。
- 9 帳票の初期設定を選択します。
- 10 [読込開始]をクリックします。

〔測定項目を任意で設定する〕:〔管理対象〕(計測点)に設定される〔測定項目〕を、次ページに表示される〔横断プレビュー〕ダイアログで確認または変更することができます。

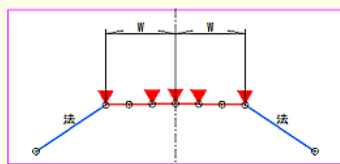
〔測定項目を自動設定する〕:〔管理対象〕(計測点)に設定される〔測定項目〕は、すべて自動設定されます。(変更できません。)

以下のように途中で「構成点数」が変化するデータを読み込んだ場合は、〔読み込み方法〕によって、作成される測点項目数が異なります。

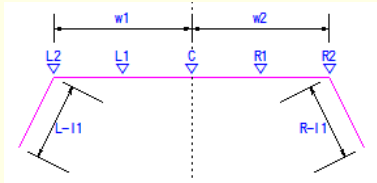
・出来形管理断面: No.1、No.4～EP



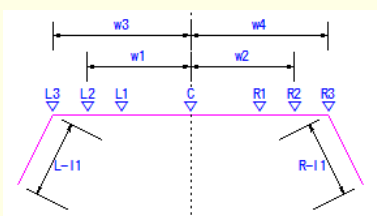
・出来形管理断面: No.2～No.3



〔測定項目を任意で設定する〕を選択した場合は、すべての断面の「出来形属性を持つ構成点」を検索し、最大の数だけ測定項目を作成します。



〔測定項目を自動作成する〕を選択した場合は、構成点コードの種類の数だけ測定項目が自動作成されます。



〔「構築形状の識別名」でまとめる〕: 分類を「構築形状の識別名」で作成します。(「盛土工」「切土工」など)

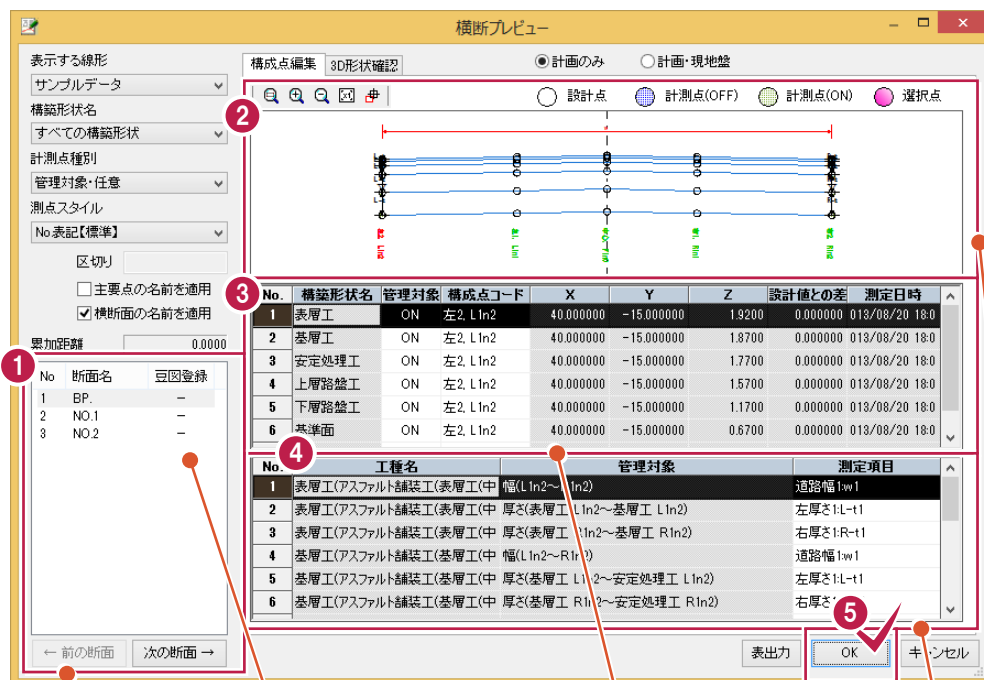
〔「横断構成の種別」でまとめる〕: 分類を「横断構成の種別」で作成します。(「路床盛土工」「切削工」など) 同じ「構築形状の識別名」内に複数の異なる「横断構成の種別」が定義されている場合は、〔「横断構成の種別」でまとめる〕のみにになります。

分類データのまとめ方

- ☐ 「構築形状の識別名」でまとめる
☒ 「横断構成の種別」でまとめる

1-3 各断面のデータを確認する

[横断プレビュー]ダイアログに読み込んだTS出来形データの内容が表示されますので、各断面のデータを確認します。



- 1 測点名を選択して、右側に表示する断面を切り替えます。
- 2 断面の形状を確認します。
- 3 断面の計測点データを確認します。
- 4 断面の[管理対象]に設定される[測定項目]を確認または変更します。
- 5 [OK]をクリックします。

選択された断面の形状が表示されます。

測点名を選択して、右側に表示する断面を切り替えます。また、[前の断面] [次の断面]で前または次の断面に移動できます。

[豆図登録]セルをクリックすると「○」と「-」が切り替わります。XMLデータの読み込み終了時に[豆図登録]セルが「○」になっている横断面形状が豆図登録されます。[豆図登録]セルがすべて「-」の場合は横断形状を自動判断して、豆図が登録されます。(次ページの豆図参照)

選択された断面の[管理対象]に設定される[測定項目]を確認または変更します。※前ページの[施工管理データ読込]ダイアログの[読み込み方法]で、[測定項目を任意で設定する]を選択した場合のみ変更できます。

各断面で「出来形属性を持つ構成点」の数が増える場合、[管理対象]に設定される[測定項目]が正しく設定されない場合があります。その場合はここで[測定項目]を変更してください。

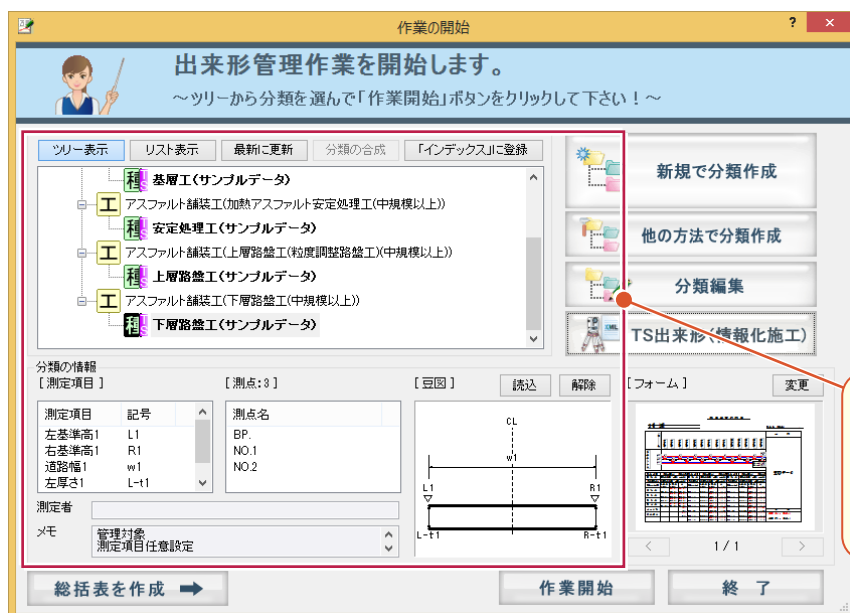
選択された断面の計測点データが表示されます。

[構成点コード]は変更可能です。横断形状で使用されている構成点コードから選択できます。

※同一箇所複数計測している場合は、以下の優先順位でどれか1つが管理対象になります。

1. 計測点種別が「管理対象」のものが優先されます。
2. 最新の「測定日」が優先されます。
3. 「設計値との差」が小さい方が優先されます。
4. 上記に当てはまらない場合は、XMLから先に読み込まれた方が優先されます。

[管理対象]とする計測点(ON)は「黒」、[管理対象]で無い計測点(OFF)は「青」で表示されます。[管理対象]は変更することができます。同一箇所の計測点のうち、どれか1つを管理対象として選択できます。

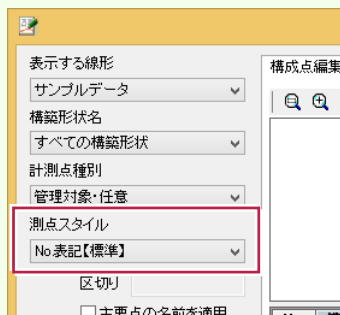


読み込んだXMLファイル内の分類、豆図が追加されます。
計測点種別と測点スタイルは、分類情報の「メモ」に入力されます。

メモ

【測点スタイル】について

断面名(=測点名)の表示形式を設定します。



測点スタイル	表示例
施工管理データに準拠	BP、No. 1、No. 1+2.345、No. 2、...
No.表記【標準】	No.0、No. 1、No. 1+2.345、No. 2、...
SP表記【北海道】	SP0.000、SP20.000、SP22345、SP40.000、...
STA表記	STA.0、STA.1、STA 1+2.345、STA.2、...
距離標表記【K形式】	OK000、OK020、OK022.345、OK040、...
距離標表記	0.000、20.000、22.345、40.000、...

メモ

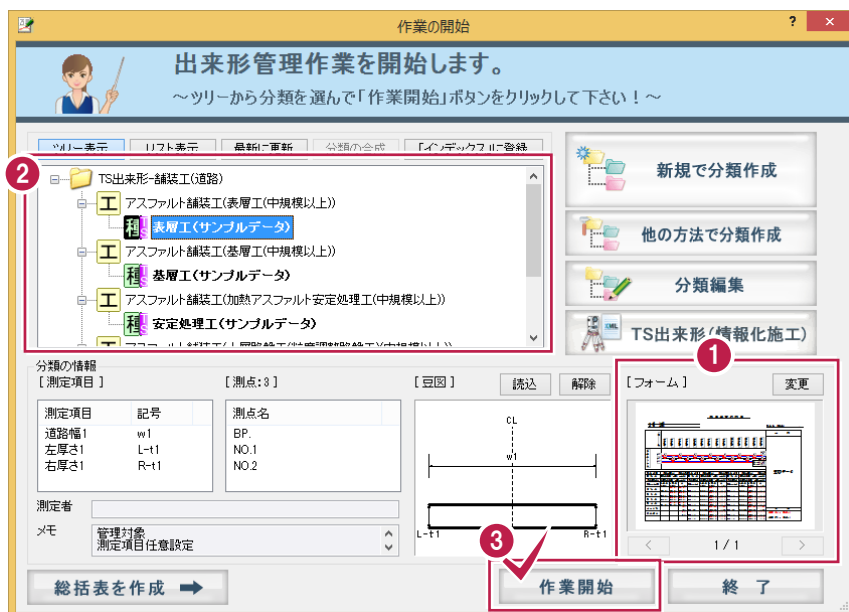
TS出来形データXMLファイル読み込み後に編集する場合は

【TS 出来形(情報化施工)】の【計測点編集】で、読み込み後のTS出来形データを編集することができます。



1-4 帳票のフォーム(様式)を確認する

[作業の開始]ダイアログに自動選択された帳票のフォーム(様式)が表示されます。
帳票のフォーム(様式)を確認します。

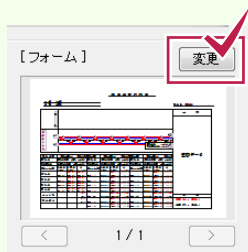


- 1 フォーム(様式)を確認します。
- 2 帳票を作成する分類を選択します。
- 3 [作業開始]をクリックします。

メモ

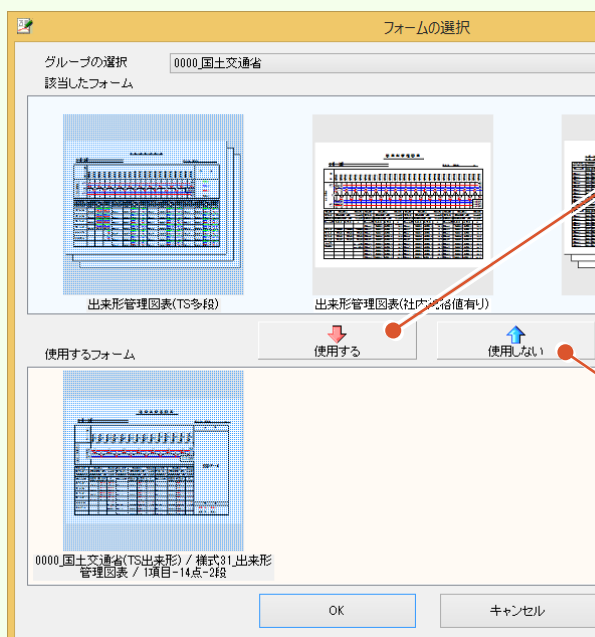
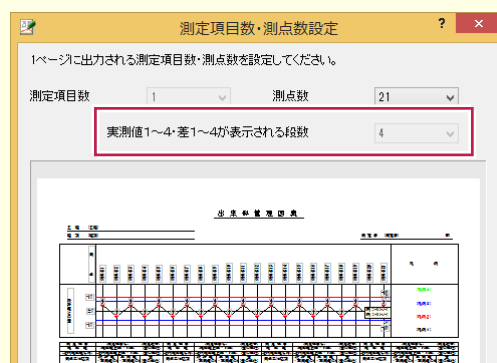
検査データも同時に出力したい場合は

検査データも同時に出力したい場合は、組み合わせによって実測値 1～4に振り分けられます。
「様式 31_出来形管理図表」では2段、3段、4段の凡例のフォームを用意していますので、[フォーム]の[変更]で、必要に応じてフォームを変更することができます。



[使用する]をクリックすると、[該当したフォーム]で選択したフォームを、[使用するフォーム]に追加します。

[0000_国土交通省(TS出来形)]の「様式31_出来形管理図表」を選択した場合は、[実測値1～4・差1～4が表示される段数]を選択します。



[使用しない]をクリックすると、[使用するフォーム]で選択したフォームを解除します。

2 帳票の確認

作成された帳票を確認してみましょう。

2-1 帳票を確認する

作成された帳票を確認します。

[分類開く]で表示される[作業の開始]ダイアログで、TS出来形データXMLファイルの読み込みにより作成された線形データの内容を編集することができます。

出来形管理 - アスファルト舗装工(表層工(中規模以上))-表層工 (サンプルデータ)

ファイル(E) 編集(E) データ入力(X) 成果編集(L) 表示(V) 設定(S) ツール(I) ヘルプ(H)

データ入力 成果編集 マスターとして保存 印刷プレビュー 印刷 元に戻す ヘルプ やり直し 上書き保存

分類開く 様式31_出来形管理図表 / 1項目-1

ページ1
ページ2
ページ3

条件設定
項目追加
測点自動
測点追加
写真管理
入力切替
フォーム
出力設定

出来形管理図表

No.	測点名	設計値	実測値1	実測値2	実測値3	実測値4	差1	差2
1	EP	10000	10000				0	
2	NO.1	10000	10000				0	
3	NO.2	10000	10000				0	
4								

測定項目 測定記号

道路幅1	w1
左厚さ1	L-t1
右厚さ1	R-t1

豆図

CL
w1
L-t1
R-t1

差

差1	差2
-25	+25

選択したページの帳票が表示されます。

[豆図]ウィンドウが表示されます。

測定項目、測定記号
を変更できます。

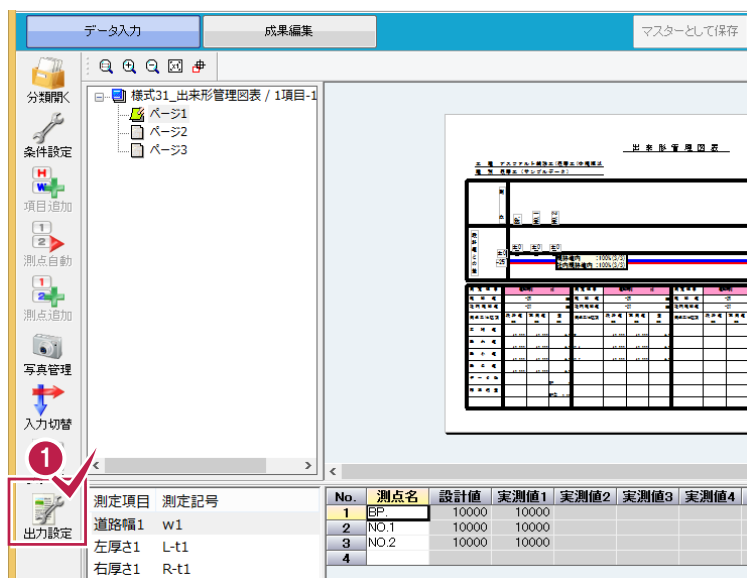
測点名を変更できます。
測点名を複数選択して、一括変更することも
できます。
設計値・実測値は変更できません。

1 ページを選択します。

2 作成された帳票を確認します。

2-2 成果の出力条件を設定する

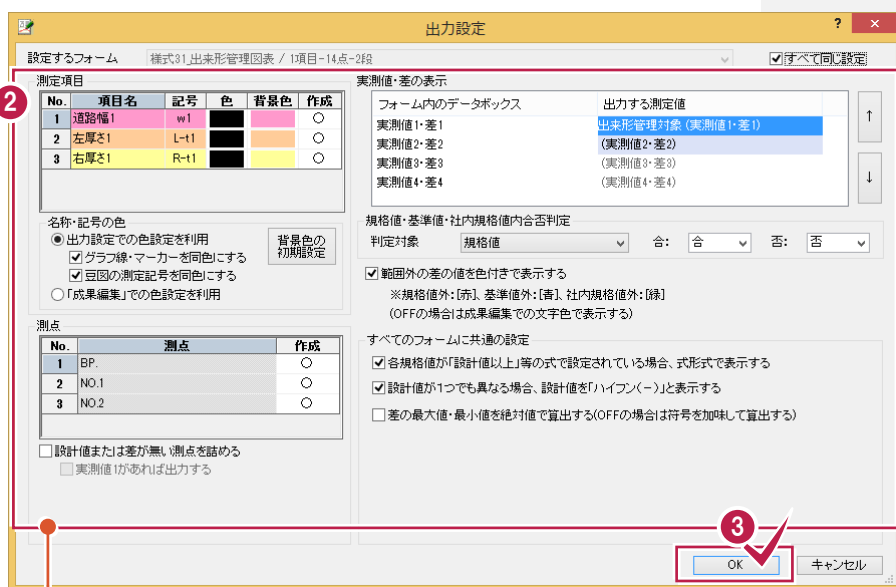
成果の出力条件（出力対象とする測定項目、測点、表示色など）を設定します。



1 [出力設定]をクリックします。

2 成果の出力条件（出力対象とする測定項目、測点、表示色など）を設定します。

3 [OK]をクリックします。



[設計値または差が無い測点を詰める]のチェックをオンにすると、次の測点は成果に出力されません。

・「設計値」が入力されていない測点 ・「実測値 1～4」が一つも入力されていない測点

1ページに複数の測定項目がある場合は、注意が必要です。下図の例で示すと、「延長」については「測点 No.5」が詰められ、「基準高」については「測点 No.3, No.5, No.7」が詰められます。ただし、「測点名」は「表1」の内容（ここでは「延長」の表）になっているため「延長」と同じく「測点 No.5」のみが詰められます。

結果として、「測点名」と「基準高」の各値とは行がずれることになります。

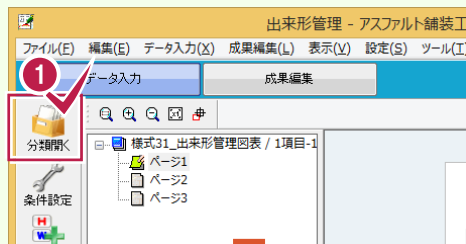
測定項目	延長 L			基準高 ▽			設計値または 差の無い測点を 括弧で、		測定項目	延長 L			基準高 ▽			設計値または 差の無い測点を 括弧で、	
規格値	-200 mm		±50 mm			規格値			-200 mm		±50 mm						
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差			測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差		
No. 2	20,000	20,000	0	122,000	122,000	+30			No. 2	20,000	20,000	0	122,000	122,000	+30		
No. 3	20,000	20,000	0	123,000					No. 3	20,000	20,000	0	124,000	124,000	0		
No. 4	20,000	20,000	0	124,000	124,000	0			No. 4	20,000	20,000	0	126,000	125,950	-50		
No. 5	20,000			125,000					No. 6	20,000	20,000	0					
No. 6	20,000	20,000	0	126,000	125,950	-50			No. 7	20,000	20,000	0					
No. 7	20,000	20,000	0	127,000													

設計値または差の無い測点を詰める

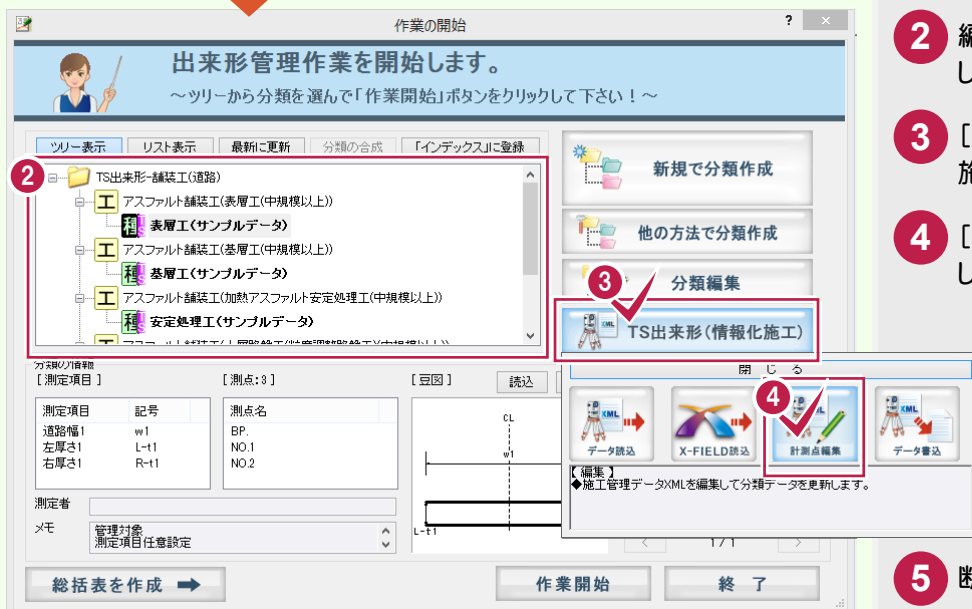
メモ

TS出来形データより作成された線形データの内容を編集する

編集は、[分類開く]で表示される[作業の開始]ダイアログで行います。



1 [分類を開く]をクリックします。



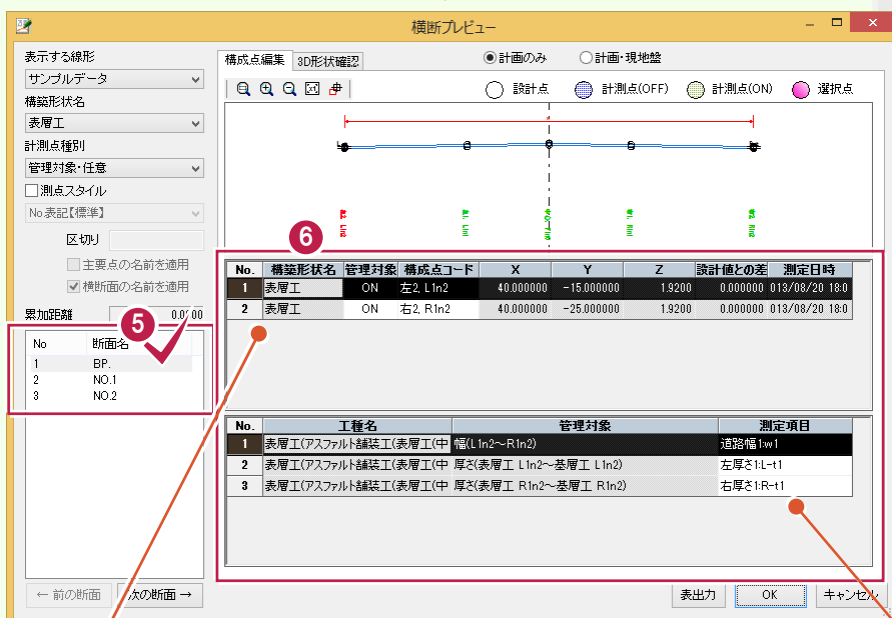
2 編集する分類を選択します。

3 [TS出来形(情報化施工)]をクリックします。

4 [計測点編集]をクリックします。

5 断面を選択します。

6 データを編集します。



選択された断面の計測点データが表示されます。

[構成点コード]は変更可能です。横断形状で使用されている構成点コードから選択できます。

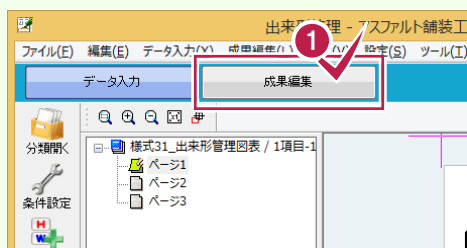
[管理対象]とする計測点 (ON) は「黒」、[管理対象]で無い計測点 (OFF) は「青」で表示されます。[管理対象]は変更することができます。同一箇所の計測点のうち、どれか1つを管理対象として選択できます。

選択された断面の[管理対象]に設定される[測定項目]を確認または変更します。[施工管理データ読み込み方法]で、[測定項目を任意で設定する]を選択した場合のみ変更できます。

メモ

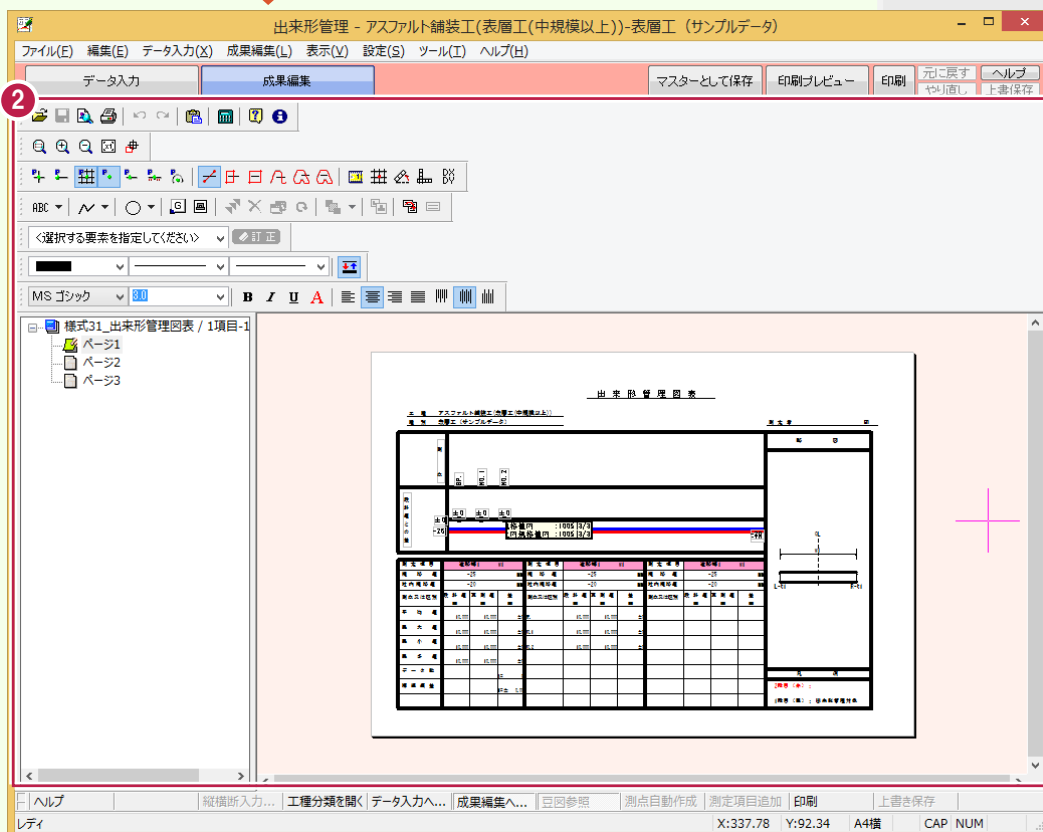
帳票を編集する

[成果編集]で帳票を編集することもできます。



1 [成果編集]をクリックします。

2 帳票を編集できます。



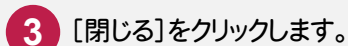
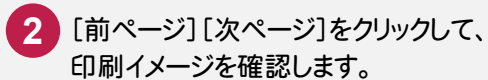
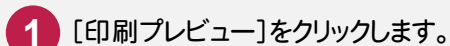
以降の操作は、「出来形管理」の「3 帳票の編集」(P.18)を参照してください。

※以下のデータは編集することができません。(改ざん防止のため)
 「設計値」「実測値 1～4」「差 1～4」「差(+)」 「差(-)」
 「規格値との差」「基準値との差」「社内規格値との差」「測定日」
 「測定時間」「計算処理項目すべて」



3-1 帳票を印刷プレビューで確認する

3 帳票の印刷



3-2 帳票を印刷する

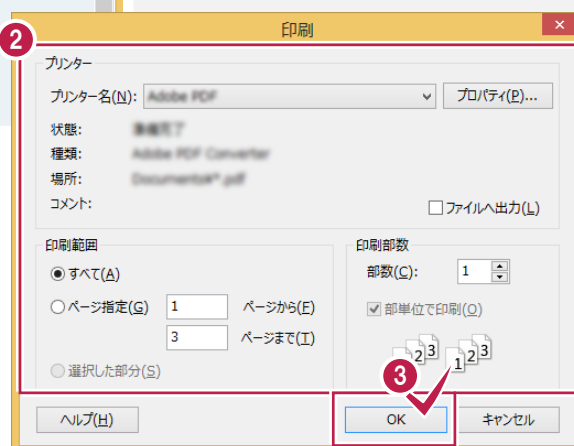
作成した帳票を印刷します。



1 [印刷]をクリックします。

2 プリンター名、印刷範囲、印刷部数などを設定します。

3 [OK]をクリックします。

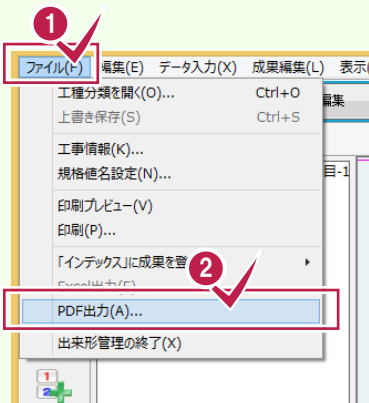


メモ

帳票をPDFで出力する

[ファイル]－[PDF出力]で帳票をPDFで出力できます。

ただし、「Adobe Acrobat」または「Antenna House PDF Driver」がインストールされている必要があります。



1 [ファイル]をクリックします。

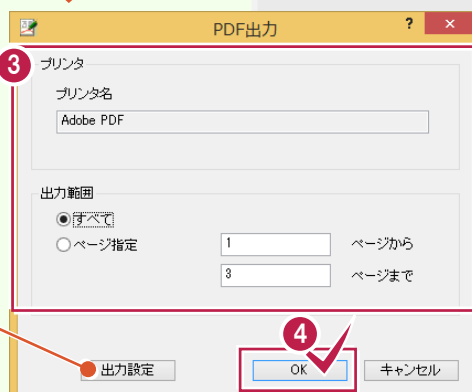
2 [PDF出力]をクリックします。

3 出力範囲を設定します。

4 [OK]をクリックします。

[出力設定]をクリックして表示されるダイアログで、成果の出力条件(出力対象とする測定項目、測点、表示色など)について設定します。

※ここでの設定は一時的なもので、コマンド実行後に元の設定に戻ります。



4 TS出来形データの書き込み

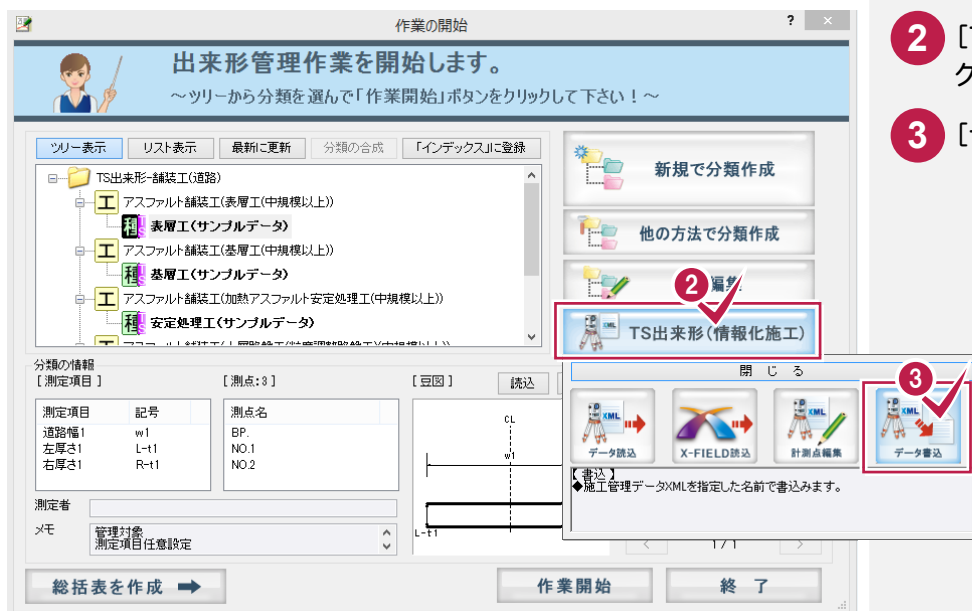
TS出来形データXMLファイルの読み込みにより作成された線形データを、外部ファイル(TS出来形データXMLファイル)に出力してみましょう。

4-1 TS出来形データXMLファイルに出力する

外部ファイル(TS出来形データXMLファイル)の出力は、[分類開く]で表示される[作業の開始]ダイアログで行います。



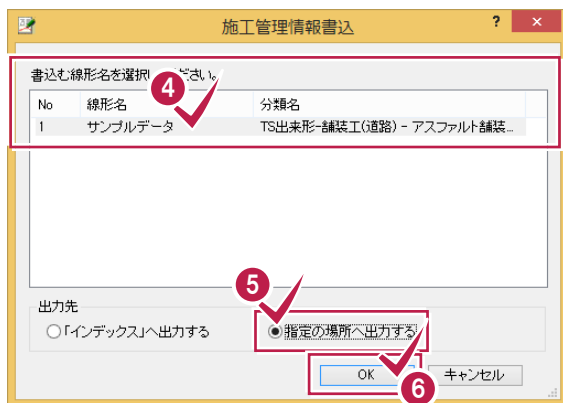
1 [分類を開く]をクリックします。



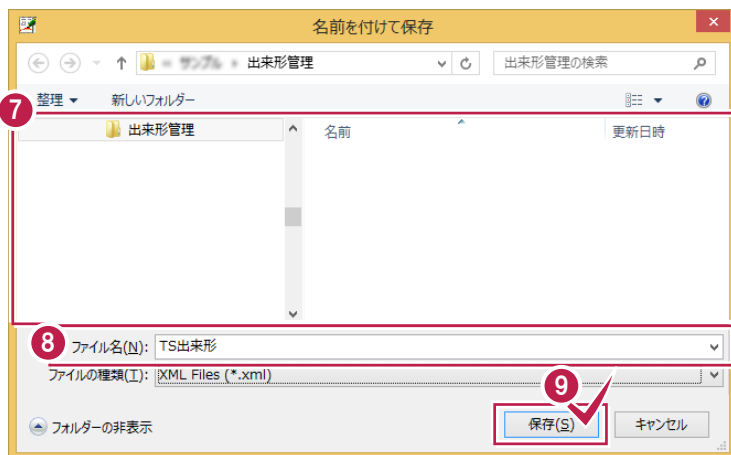
2 [TS出来形(情報化施工)]をクリックします。

3 [データ書込]をクリックします。





- 4 出力する線形を選択します。
- 5 [指定の場所へ出力する]を指定します。
- 6 [OK]をクリックします。



- 7 フォルダを指定します。
- 8 ファイル名を入力します。
- 9 [保存]をクリックします。

[作業の開始]ダイアログへ戻り、保存したXMLファイルが表示されます。

メモ

「インデックス」へ出力した場合

[[インデックス]へ出力]を選択した場合は、インデックスの[工事成果]の[工事測量]の[TS 関連出力ファイル]に出力されます。

